

HONDA
Honda Access Corp.

Gathers

取扱説明書

8インチディスプレイオーディオ

VX-240ZFE

LX-240ZFE



「用品使い方サポート」
お困りの症状への対処方法をウ
ェブサイトでご案内しています



「ナビゲーション &
オーディオ取扱説明書」
取扱説明書はウェブサイトにも
掲載しています

HONDA

Honda Access Corp.

このたびは、Honda純正の商品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。

この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

- 当商品は Honda 車専用です。適用車種以外の車に取り付けた場合は一切の責任を負えませんのでご承知おきください。
(商品の適用車種は Honda 販売店にご確認ください。)
- Honda 車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い上げの Honda 販売店にご依頼ください。
- 商品を譲られる場合には、この取扱説明書もお渡ししてください。

本機(ディスプレイオーディオ)を第三者に譲渡・転売、または破棄される場合には以下の内容をご注意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■ お客様のプライバシー保護のために…

- ・メモリーに保存された個人情報を含む全てのデータ(登録リスト、メンテナンス情報など)を、本書に記載した内容に従って初期化(データの消去)するようにしてください。

■ 著作権保護のために…

- ・本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡(有償、及び無償)・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■ 個人情報のお取り扱いについて

- ・個人情報保護に関する弊社基本方針、及び個人データのお取り扱いについては弊社ホームページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/>

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点は
お買い求めの Honda 販売店へご相談ください。

事故防止のため、運転中は絶対に操作しないでください。

Made for
iPhone | iPod

Bluetooth®

ワイドFM

works with
androidauto

Works with
Apple CarPlay

HDMI®
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

※ Bluetooth® 対応装置には技術基準適合認定を受けた無線機器を搭載しております。

もくじ

本書の読みかた	6
---------	---

はじめに 7

安全上のご注意	8
使用上のご願い	11
各部の名前	13
本機の電源を入れる／切る	14
本機の機能制限について	15
ユーザーセットアップを行う	16
タッチパネルの操作のしかた	17

オーディオ 19

ソースの切替	20
オーディオをON/OFFする	20
オーディオの音量を調整する	21
ラジオ(FM/AM)を聴く	22
ラジオで交通情報を聴く	24
iPod/iPhone/Android/USBメモリ	25
本機で利用できるiPod/iPhone	26
iPod/iPhoneのミュージックを聴く	27
USBメモリーの音楽を聴く	29
USBメモリーの画像を見る	31
USBメモリーの動画を見る	33
Bluetooth® Audioの機器登録とペアリング	34
Bluetooth® Audioを聴く	35
HDMIの映像を見る	38
サウンド設定をする	39

携帯電話との連携 43

Bluetooth® 設定	44
電話を使う	48
ハンズフリーで通話する	51
電話を使う	54
よくかける電話番号を登録する	55
アドレス帳や履歴を消去する	56
ハンズフリーフォンの通話設定をする	57
電話のアドレス帳/履歴を本機に転送する	58

スマートフォン連携 59

Apple CarPlayについて	60
本機でApple CarPlayが利用できるiPhone	60
Apple CarPlay 接続	61
利用できない機能について	62
Android Autoについて	63

Android Auto接続	64
利用できない機能について	65

Honda Total Care 67

「Honda CONNECT 搭載車の場合」

Honda Total Careとは	68
Honda Total Careをご利用になる前に	69
会員サイトとスマートフォンアプリについて	70
緊急時のサポートについて	71
Honda Total Care画面について	72

その他の機能と設定 73

設定画面について	74
音量設定画面について	74
用品取扱説明書・用品使い方サポート画面について	75
その他設定をする	75
時刻設定画面	75
データを初期化(消去)する	76
画質調整	76
画面を消す	77
リアカメラ設定をする	77
オーディオリモートコントロールスイッチを使う	78
オーディオリモートコントロールスイッチの操作	78
リアカメラについて	80
カメラのガイドライン表示について	80
リアカメラを使う	81
リアカメラの映像を表示する	82
リアカメラのビューを切り替える	82
ガイドラインの表示を切り替える	82
画質調整をする	83
リアカメラの次回表示ビューを設定する	84
リアカメラ de あんしんプラス4を使う	85
後方死角サポート	86
バーチャルビュー	86
後方車両お知らせ機能	86
後退駐車サポート	87
後方死角サポート/ 後方車両お知らせ機能のアイコンについて	88
リアカメラの設定	89
リアカメラの次回表示ビューを設定する	90

困ったとき 91




故障かな?と思ったら	92
------------	----

付録 103

iPodについて	104
USBメモリーについて	105
Bluetooth®について	106
音楽ファイルについて	110
画像ファイルについて	112
動画ファイルについて	113
ラジオの受信について	115
初期設定一覧	116
商標などについて	118
ソフトウェア、およびオープンソース	
ソフトウェアについて	119
保証とアフターサービス	120
仕様	121
さくいん	122

本書の読みかた

本書では、用途別に下記のマークを使用しています。本書をお読みになる前にご確認ください。

	参照していただきたい本文のタイトル名やページ番号を表します。
	標準キーを表します。
	タッチパネルのボタンを表します。

使用上の注意事項など

- **本機の操作**
 - 運転中の操作は避け、停車して行ってください。
 - 運転中に画面を注視しないでください。
- **本機の故障、誤動作または不具合によるUSBメモリー内などの保存データの消失などについては補償できません。**

インターナビプレミアムクラブまたは Honda Total Careのサービスについて

2023年5月時点の情報を基に作成しております。
サービス内容並びに仕様について予告なく変更・終了する
ことがありますので、あらかじめご了承ください。

本書では代表としてVX-240ZFEのイラスト／画面を記載しています。
機種により機能や操作が異なる箇所には、機種名を記載しています。

はじめに

安全上のご注意	8
使用上のお願い	11
各部の名前	13
本機の電源を入れる／切る	14
本機の機能制限について	15
ユーザーセットアップを行う	16
タッチパネルの操作のしかた	17

安全上のご注意 必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です

- お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。

警告






リアカメラシステムは補助手段として使用し、後退時には直接後方の安全確認をしながら運転する
交通事故の原因となります。



医療用電気機器などへの影響を確認する

本機は、無線機能を搭載しています。心臓ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用になる場合は、当該の各医療用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響について必ずご確認ください。

 **警告**

 分解禁止	<p>本機を分解したり、改造をしない 交通事故・火災・感電の原因となります。</p>
 接触禁止	<p>雷が鳴りだしたら、アンテナコードや本機に触らない 落雷による感電のおそれがあります。</p>
	<p>運転者は走行中に本機や携帯電話の操作をしたり、画面を注視しない 交通事故の原因となります。必ず安全な場所に車を停車させた状態で行ってください。</p> <p>車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしない 車内や屋内などに排気ガスが充満し、一酸化炭素中毒のおそれがあります。</p> <p>ねじなどの小物部品やカード類は、乳幼児の手の届くところに置かない 誤って、飲み込むおそれがあります。万一飲み込んだと思われる場合は、すぐに医師にご相談ください。</p> <p>故障や異常な状態のまま使用しない 画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音、異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因になります。</p> <p>機器内部に、水や異物を入れない 金属物や燃えやすいものなどが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電、故障の原因になります。飲み物などがからないようご注意ください。</p> <p>大きな音量で使用しない 車外の音が聞こえないことによる交通事故の原因となります。</p>

⚠ 注意

	<p>取り付け(取り外し)や配線は、専門技術者に依頼する</p> <p>誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。</p>
	<p>液晶パネルを強く押したり、強い衝撃を与えない</p> <p>液晶パネルのガラスが割れて、けがの原因となることがあります。皮膚の炎症などの原因となることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none">• 万一液晶が口に入った場合は、すぐにうがいをして医師に相談してください。• 液晶が目に入ったり皮膚に付着したりした場合は、きれいな水で充分洗浄したあと、医師に相談してください。

使用上のお願い

走行中の操作制限／視聴制限について

- 安全運転への配慮から、走行中は操作できない機能があります。操作や映像ソースの視聴は、安全な場所に停車して行ってください。
- 停車するときには、停車禁止区域以外の安全な場所に停車してください。

車のエンジン停止中／アイドリング中での使用について

エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。

温度について

極端に寒いときや暑いときは、正常に動作しないことがあります。換気や暖房で車内を適温にご使用ください。

結露について

タッチパネルの内側に結露が生じた場合、正常に動作しないことがありますので、Honda販売店にご相談ください。タッチパネルの操作は結露が取り除かれてから行ってください。

振動について

本機に強い振動が加わると、まれに音飛びなどの症状がみられることがあります。強い振動がおさまると通常の動作に戻ります。

ディスプレイについて

- 液晶の特性上、直射日光が反射して画面が見づらくなる場合があります。
- 画面にいつも同じ色に光る点やいつも黒い点が現われる場合がありますが、これは液晶ディスプレイの性質上起こるものであり、故障ではありません。
- 保護フィルムを貼り付けた場合、正常に動作しないことがありますので、保護フィルムは貼り付けないでください。
- ディスプレイ表面は傷付きやすいため、取り扱いには十分ご注意ください。硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。

ディスプレイのお手入れについて

- 画面の汚れは、プラスチックレンズ用メガネ拭きなどの柔らかく乾いた布で軽く拭きとってください。手で押したり、硬い布などでこすると表面に傷が付くことがあります。
- 画面は指紋やホコリが付きやすいので、時々清掃してください。清掃するときは、電源を切り、乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。濡れたぞうきん・有機溶剤(ベンジン、シンナーなど)・酸・アルカリ類は使用しないでください。変質する原因となります。

使用上のお願い

外部接続機器(iPod/USBメモリー/携帯電話)について

- 外部接続機器を車室内に放置しないでください。炎天下などで車室内が高温となり、故障の原因となります。
- 外部接続機器の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。

著作権について

お客様が録音・録画したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。著作権の対象になっているデータの記録されたUSBメモリーなどは、著作権法の規定による範囲内で使用してください。また、営利目的、または公衆に視聴されることを目的として画面の圧縮・引きのぼしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害するおそれがありますので、ご注意ください。

免責事項について

- 火災、地震、水害、落雷、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤使用、その他の異常な条件下での使用により故障または損傷した場合には有料修理となります。
- 本機の使用または使用不能から生じる損害(事業利益の損失、記憶内容の変化・消失など)については、弊社は一切その責任を負いかねます。
- 本機をHonda車以外の車両や業務用の車両(タクシー・トラック・バスなど)に使用した場合、保証対象外となります。
- お客様または第三者が本機の使用を誤ったとき、静電気・電氣的なノイズの影響を受けたとき、基本プログラムなどが消失・変化した場合、または故障・修理のときなどに、本機に登録されていた情報(登録地点など)が変化・消失した場合、その内容の補償はできません。
- 本機で再生するデータは必ずバックアップをしてください。使用状況によってはデータが失われるおそれがあります。消失したデータについては補償できませんのであらかじめご了承ください。

その他

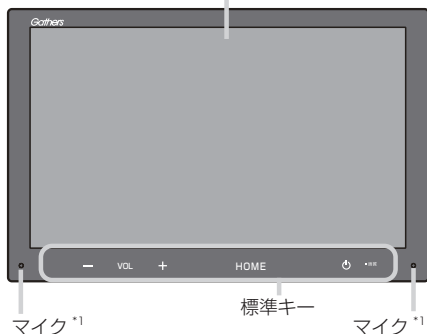
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- 強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- バッテリー交換のときなど本機への電源供給が止まると、記憶させた内容の一部は消えてしまいます。
- 本機の近くで強力な電氣的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。
- パネル面、その他の付属品にベンジン、シンナー、殺虫剤などの揮発性の薬品をかけると、ケースや塗装が変質しますので使用しないでください。またセロハンテープなどの粘着性のものを貼ったりすることも、キャビネットを汚したり傷めますので避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。
- 本機の時計表示は、車両装備の時計と時間表示が異なる場合があります。

各部の名前

電源入れた後

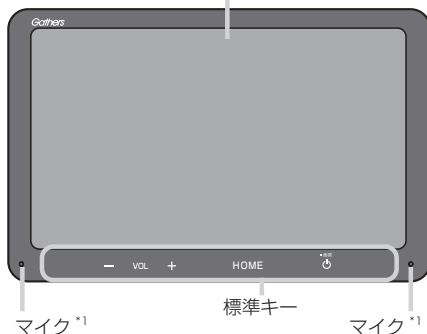
VX-240ZFE

表示部 / タッチパネル



LX-240ZFE

表示部 / タッチパネル



標準キーの主なはたらき

VOL- / **VOL+** キー

オーディオ音量 / ハンズフリー着信・受話音量 / 音声案内音量を調整します。

※それぞれの音声が出力中に、調整できます。

電源 キー

- オーディオをON/OFFします。
- 長押しすると、画面 / 画質調整画面を表示します。

HOME キー

HOME画面を表示します。*2

*1… マイクはハンズフリー通話や音声認識で使います。

*2… リバース映像などの画面からは切り替わりません。

本機の電源を入れる／切る


本機の電源は車のエンジンスイッチと連動します。

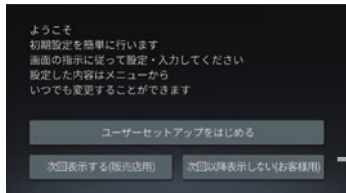
電源を入れる	車のエンジンスイッチをアクセサリモード、またはONにする。
電源を切る	車のエンジンスイッチをOFFにする。


初めて使用する場合や、工場出荷状態に戻した後に、以下の画面が表示されることがあります。

ユーザーセットアップ開始画面

初めて本機を起動したときに表示され、初期設定を行うことができます。

※初期設定の操作方法は、ユーザーセットアップを行う  P.16 をご覧ください。



あとで初期設定を行う場合にタッチしてください。
あとで初期設定を行う方法は、ユーザーセットアップを行う  P.16 をご覧ください。

本機の機能制限について

本機は、車両の装備やグレードにより、下記機能が使えない場合があります。
詳しくはお近くのHonda販売店までお問い合わせください。

分類	機能	詳細
時計	車両メーター内時計の連動機能	本機から車両のメーターに時刻情報を送信し、メーター内時計の時刻を合わせて連動させる機能。
リアカメラ	ダイナミックガイドライン	ハンドル角度にあわせてリアカメラのガイドラインを変化させる機能。P.81
メーター連携	Turn By Turn (道路路線情報など)機能	メーター内マルチインフォメーションディスプレイに、ルート案内の際、交差点案内を表示する機能。 ※ 表示される道路形状や案内矢印方向の情報などは、実際と異なる場合があります。
オーディオ	AMラジオ	EV車など、車両によってはAMラジオに対応していないため、AMラジオが聞けない場合があります。詳しくは販売店に相談して下さい。
その他	緊急サポート連携	車両側の機器で緊急サポート連携(緊急サポートへ電話など)が行われると、本機に“サポートセンターへ接続しています。”と表示され、本機の音声が一時的に消音になります。
	イルミ減光キャンセル機能*1	車両のインストルメントパネル照明の減光を解除すると、連動して本機の画面の減光も解除される機能。

*1…車両のイルミネーションコントロールで明るさを最大にすると、減光状態が解除される機能があります。車両のイルミネーションコントロールで明るさを最大にしたときや、周囲が明るい場合は、車幅灯が点灯しても本機の画面は昼用の明るさになります。イルミネーションコントロールについては車両の取扱説明書をご覧ください。

ユーザーセットアップを行う

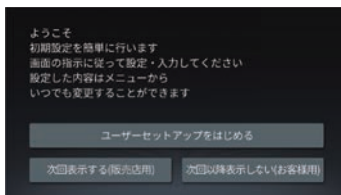
あらかじめ設定しておくとお利便な項目をまとめて設定することができます。

はじめに

1 初めて本機を起動したときに表示される右記画面で **ユーザーセットアップをはじめめる** をタッチする。

後で行う／再設定する場合

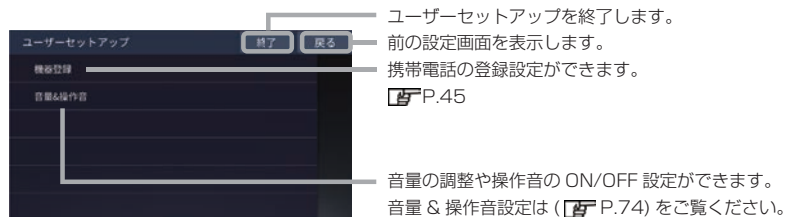
[HOME] を押して、**設定／情報** → **システム設定**
→ **その他設定** → **ユーザーセットアップ** をタッチする。



2 各項目の設定を行う。

Bluetooth® 設定

ハンズフリー電話など Bluetooth® 接続が必要な機能を利用するためには、携帯電話の登録や設定が必要です。



タッチパネルの操作のしかた

タッチ

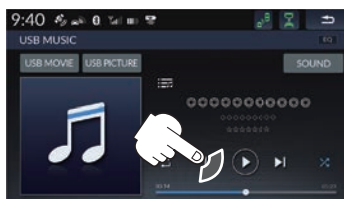
画面に軽く触れます。



- 画面に表示されたボタンなどをタッチして本機の操作ができます。

ロングタッチ

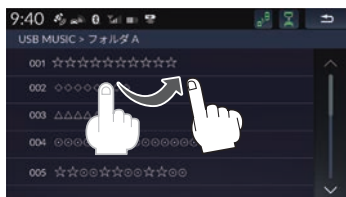
画面に長押しします。



- 特定のボタンを長押しすると、本機の操作ができます。例えば、**⏮**/**⏭**を長押しすると、早送り/早戻し操作ができます。

フリック

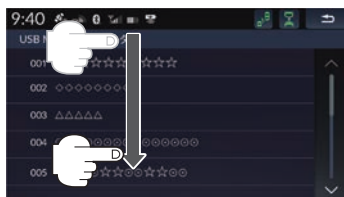
画面をサッとはらうように指を動かします。



- リスト画面でスクロール操作ができます。

ドラッグ

画面をタッチしたまま、なぞるように指を移動します。



- リスト画面でスクロール操作ができます。

タッチパネルの操作は指の腹で操作してください。爪やペンなどで操作すると反応しなかったり、画面に傷が付いたり、誤動作の原因となります。

タッチパネルのボタンが暗く表示されているときは操作できません

タッチしても操作できない状況のとき、タッチパネルのボタンは暗く表示されます。

USB MUSICのフォルダリスト画面(例)

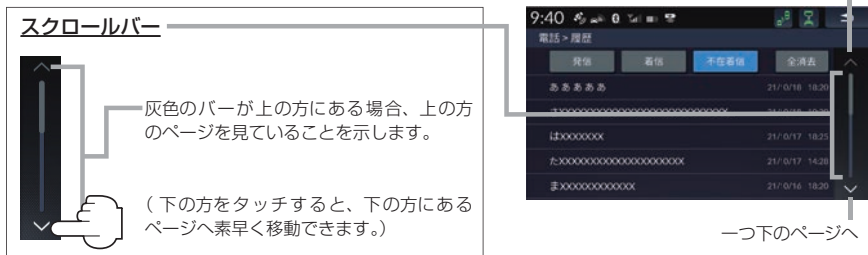


⬆ : 操作不可
⬇ : 操作可

タッチパネルの操作のしかた

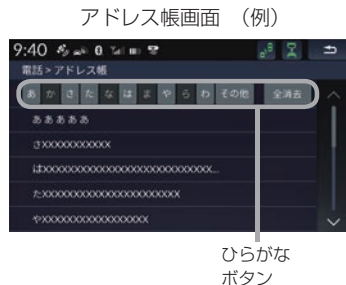
ページ送り／リスト送りをする

設定画面やリスト画面などで項目が多い場合、複数のページにわたって表示されることがあります。このような画面では、▲／▼をタッチしてページ送り／リスト送りをしてください。



リスト画面では以下の操作でリスト送りすることもできます

- ドラッグ／フリックする。
- ひらがなボタンをタッチする。
一部のリスト画面では、ひらがなボタンが表示され、タッチしたひらがなを頭文字に持つリストまで素早くリスト送りできます。(例えば「な」をタッチすると、奈良「新瀧」など「な」行から始まる名称のリストまでリスト送ります。)



お知らせ

走行中はページ送り／リスト送り操作が制限されます。

オーディオ

ソースの切替	20
オーディオをON/OFFする	20
オーディオの音量を調整する	21
ラジオ(FM/AM)を聴く	22
ラジオで交通情報を聴く	24
iPod/iPhone/Android/USBメモリ	25
本機で使用できるiPod/iPhone	26
iPod/iPhoneのミュージックを聴く	27
USBメモリーの音楽を聴く	29
USBメモリーの画像を見る	31
USBメモリーの動画を見る	33
Bluetooth® Audioの機器登録とペアリング	34
Bluetooth® Audioを聴く	35
HDMIの映像を見る	38
サウンド設定をする	39

ソースの切替

画面上の該当するソースアイコンをタッチすることで視聴するソースを切り替えることができます。または、オーディオリモートコントロールスイッチの [Source] を押してソースを切り替えることができます。

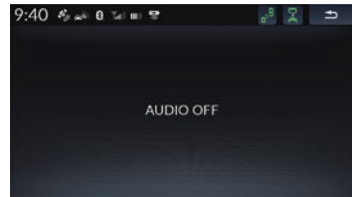
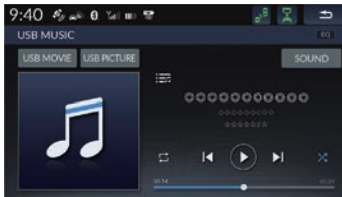
※また、一部の車両において、メーターでソースを切り替える機能が搭載されていて、メーター用オーディオリモートコントロールスイッチでソースを切り替えることができます。

オーディオを ON / OFF する

1

 を押す。

⇒オーディオの ON / OFF が切り替わります。



オーディオ機能が OFF になります。

お知らせ

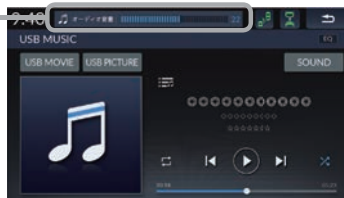
Bluetooth®Audio ソースの場合、Bluetooth®Audio 対応機器の仕様によっては、オーディオを OFF したり本機の電源を切ったりしても、再生を継続するものがあります。電池の消費などが気になる場合には、機器側で再生を停止させるか、機器の電源を OFF にしてください。

オーディオの音量を調整する

オーディオの音量を調整する

- 1 オーディオ再生中に
VOL- / VOL+ を押す。

音量表示
(音量調整中に表示)



お知らせ

- 再生しているソースの音調を調整できます。
- オーディオ OFF のときは音量調整できません。
- Bluetooth® 電話音声、Apple CarPlay/Android Auto 案内音声、AIアシスタント音量、ソースは個別に音量調整できます。

音量&操作音設定画面について

- 1 [HOME] を押して、**設定/情報** → **音量&操作音** をタッチする。
- 2 <調整ボタン> をタッチして、調整する。



調整ボタン

音量	- / + をタッチして音量を調整します。 ※ 音量設定の詳細は [P.74] をご参照ください。
操作音の出力	操作音の出力 ON/OFF を設定できます。 ※ OFF を選ぶと、操作音が鳴らないように設定されます。

ラジオ(FM/AM)を聴く

1 [HOME]を押して、**FM** / **AM** / **交通情報** をタッチする。

FM/AM/交通情報操作画面になります。

2 **FM** / **AM** / **交通情報** をタッチして、ラジオソースを選択する。

FM/AM/交通情報操作画面の間で切り替わります。



放送局のリストにはエアプリセットリストとユーザープリセットリストがあり、切り替えることができます。

- ※エアプリセットリスト：選択された地域の放送局のリスト
- ユーザープリセットリスト：お客さまが登録した放送局のリスト
- ➡ユーザープリセットリストに放送局を登録する (P.23)

※放送局名は本機のデータに基づいて表示されます。データの無い放送局名は表示されません。

	タッチすると、手動選局ができます。操作するたびにFMは0.1MHz、AMは9kHzずつ変わります。
	タッチすると、自動選局ができます。
	プリセットリストのページを送ります。

お知らせ

- 選んだ放送局が必ず受信できるわけではありません。
 - プリセットリストはFMで最大12局、AMで最大6局まで表示されます。
 - 同じ周波数の放送局の放送地域が重複している地域では、受信中の放送局名が正しく表示されないことがあります。
 - 放送局名は自動的に更新されませんので、長距離移動したときなど現在地周辺の放送局名が正しく表示されない場合があります。その場合は、**地域選択** をタッチして現在地の地域を選択して、放送局名を更新してください。
 - 放送局名はお客さまが選択した地域と本機のデータに基づいて表示されます。
 - データの無い放送局名は表示されません。
 - 放送局名について、総務省のHPに掲載しているものを引用しています。
- 確認時期：2023年5月23日。

ラジオ(FM/AM)を聴く

選局する

プリセットリストから選局する	<p>① USER.P / AREA.P をタッチして、相応なプリセットリストに切り替える。</p> <p>② プリセットリストから、登録した放送局のボタンをタッチする。 選択した放送局の放送が選局されます。</p> <p>お知らせ</p> <p>周波数再編により、これまで受信できた放送局が受信できなくなった場合は、新しい周波数をユーザープリセットリストに登録してください。</p>
自動選局する	<p>⏪ / ⏩ をタッチする。 受信可能な放送局の周波数になると自動で止まります。</p> <p>お知らせ</p> <p>受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。</p>

ユーザープリセットリストに放送局を登録する

FMは最大12局、AMは最大6局まで登録できます。

- 1 登録したい放送局を選局する。
- 2 **USER.P** をタッチして、ユーザープリセットリストに切り替える。
- 3 ユーザープリセットリストから登録先のボタンを選んでタッチしたままにする。

タッチしているボタンの表示が現在選局中の放送局表示に変わったら指を離します。

AREA.P をタッチする。

自動選局され、受信可能な放送局が自動的にユーザープリセットリストに登録されます。

お知らせ

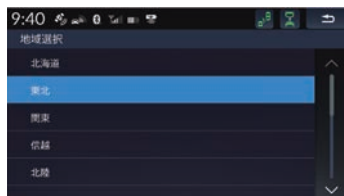
エリアプリセットリストのプリセット局は手動で変更できません。



ラジオ(FM/AM)を聴く

地域選択(FM/AM共通)

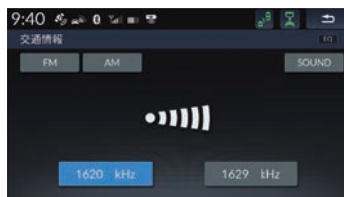
- 1 **地域選択** をタッチする。
- 2 現在の地の地域をタッチして選択する。
※ 放送局名は選択した地域に基づいて表示されます。
※ 地域を選択したあと、エリアプリセットリストに切り替えると、選択した地域周辺の放送局が表示されます。



ラジオで交通情報を聴く

ラジオで交通情報を聴く

- 1 **HOME** を押して、**交通情報** をタッチする。
交通情報に切り替わり、前回選択した周波数で自動的に受信します。
- 2 周波数を切り替える場合は、**1620kHz** / **1629kHz** をタッチして選択する。
選択した周波数が記憶され、次回交通情報に切り替えたとき、前回選択した周波数で受信します。

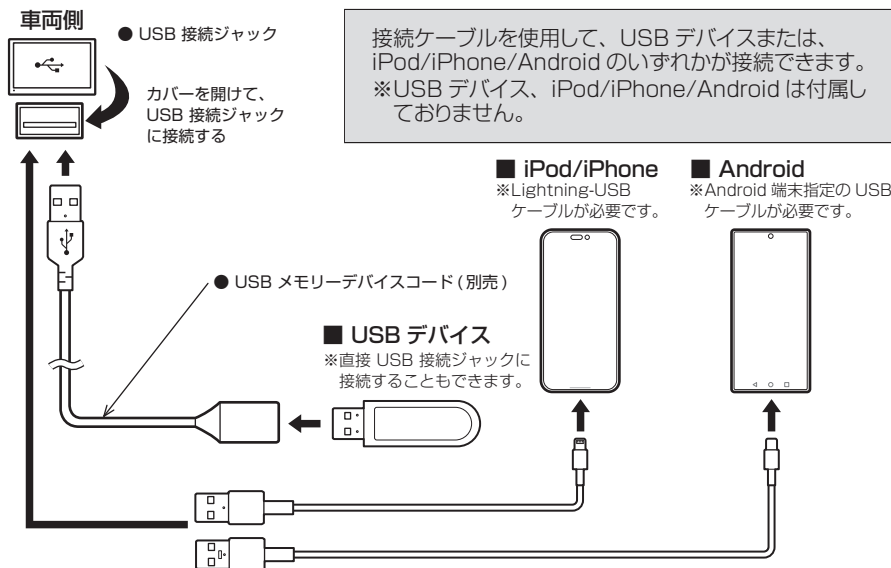


お知らせ

交通情報は場所によって1620kHzか1629kHzのどちらかで放送されます。受信状態が悪い時には周波数を切り替えてみてください。

iPod/iPhone/Android/USBメモリ

接続ケーブルとiPod/iPhone/AndroidおよびUSBデバイスの接続方法を説明します。



お知らせ

- USB 接続ジャックの形状や取り付け位置は、車両によって異なります。詳しくは、Honda販売店にご確認ください。
- Apple CarPlayについては「Apple CarPlayを利用する」(P.60)をご覧ください。
- Android Autoについては「Android Auto™を利用する」(P.63)をご覧ください。

注意

- USB 接続ジャックに何も接続していないときはカバーを閉じてください。内部に異物が入ったり、カバーが体に当たって破損したりするおそれがあります。
- LightningコネクタタイプのiPod/iPhoneに接続する場合は、Lightning-USBケーブルをご使用ください。
- iPod/iPhone/Androidの動画を再生する場合はHDMI (P.38)へ接続してください。
- 各コネクタ方向に注意してください。コネクタ方向を間違えた状態で無理に接続すると、接続ケーブルのコネクタやiPod/iPhone/Android、USBデバイスの破損の原因となります。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone/AndroidやUSBケーブルを車内に放置しないでください。

iPod/iPhone/Androidについて

- iPod/iPhone/Androidを本機に接続した状態で操作してください。
- 正しく動作しないときは、iPod/iPhone/Androidを本機から外して再起動し、再度接続してください。
- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、iPod/iPhone/Android本体を車内に放置しないでください。
- 本機と接続して使用しているときにiPod/iPhone/Androidのデータが消失しても、その補償はいたしかねます。
- 本機で表示できない文字列(特殊文字など)は記号(例：細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。
- シークバーなどはiPod/iPhone/Androidとの通信状況により正しく表示されない場合がありますが、故障ではありません。
- 本機に接続する場合は、認証品または端末メーカー純正の携帯ハーネスをご使用ください。

iPod/iPhone/Android/USBメモリ

USBデバイスについて

- USBデバイスの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- USBメモリの推奨ファイルシステムはFAT16/FAT32/exFATです。
- USBメモリの容量は128GBまでを推奨します。なお、すべてのUSBメモリに対して動作を保証するものではありません。
- 音楽ファイルが記録されたUSBデバイスを本機に接続した状態で操作してください。
- 本機で表示できない文字列(特殊文字など)は記号(例：細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。
- USB2.0に対応しています。
 - ※ USB3.0/4.0対応のデバイスを使用する場合も、USB2.0として認識されます。
- USBマークがあるUSBデバイスを使用してください。

注意

- 車内高温時の故障や盗難を避けるため、USBデバイスを車内に放置しないでください。
- データ破損のおそれがあるためファイルのバックアップをおすすめします。
- USBデバイスの破損、記録されたデータの消失または破損に対する一切の保証はいたしかねます。

本機で使用できるiPod/iPhone

機種：	iPhone 14	iPhone 12 Pro Max	iPhone X
	iPhone 14 Plus	iPhone 12	iPhone 8
	iPhone 14 Pro	iPhone 12 mini	iPhone 8 Plus
	iPhone 14 Pro Max	iPhone 11 Pro	iPhone SE II
	iPhone 13 Pro	iPhone 11 Pro Max	iPhone SE III
	iPhone 13 Pro Max	iPhone 11	iPod touch(第6世代)
	iPhone 13	iPhone Xs	iPod touch(第7世代)
	iPhone 13 mini	iPhone Xs Max	
	iPhone 12 Pro	iPhone XR	

※iPhoneのソフトウェアを最新バージョン(iOS16以降)にしてお使いください。

※iOSについて詳しくはApple社のWebサイトをご覧ください。

※iPhoneの適合ソフトウェアは、<https://www.honda.co.jp/navi/support/>。

iPod/iPhoneのミュージックを聴く

※あらかじめiPod/iPhoneを接続しておく必要があります。(P.25)

1 **HOME**を押して、**iPod**をタッチする。



オーディオ

選曲する

1曲ずつトラックを戻したり進めたりする

◀ / ▶ をタッチする。

トラックリストから曲を選ぶ

- ① をタッチして、トラックリスト表示にする。
- ② 再生したい曲を選んでタッチする。

お知らせ

トラックリストは選曲モードによって変わります。



選曲モードから選曲する

① **フォルダ** をタッチする。



② 選曲方法を選んでタッチする。

P.29

③ 表示されるリストをスクロールし、再生したい曲をタッチして選択する。

アーティストリスト画面(例)

“アーティスト”と表示の画面ではリストから再生したい曲のアーティストを選んでください。

アーティストの絞り込みをせずにアルバム選択のリストに移ります。



iPod/iPhoneのミュージックを聴く

早戻し／早送りする

- 1 **⏮** / **⏭** をタッチし続ける。
※ 指を離すと通常再生に戻ります。

一時停止する

- 1 **⏸** をタッチする。
※ 一時停止中に **▶** をタッチすると再生に戻ります。

リピート／ランダム再生する

- 1 **🔄** / **🎲** を選んでタッチする。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、表示灯を消灯させる。



再生モード名	動作
🔄 リピート	タッチするたびに、全曲リピート/1曲リピート/通常再生を切り替えます。 全曲リピート：全曲を繰り返し再生します。 1曲リピート：1曲を繰り返し再生します。
🎲 ランダム	タッチするたびに、ランダムトラック/通常再生を切り替えます。 * 1ランダムトラック：現在のトラックリストの曲順を順不同にして再生します。

お知らせ

iPodによっては、通常再生の場合、トラックリストの全曲の再生が終わったら再生が停止するときがあります。繰り返し聴きたい場合は、全曲リピートに切り替えてください。

お知らせ

- タイトル情報／選曲モードは iPod/iPhone 本体に収録されている内容となります。
- iPod/iPhone のデータが多くなるほど、各リストを表示させるまでに時間がかかります。
- iPod/iPhone の機種やバージョンによっては、タイトル情報が正しく表示されないことがあります。
- 本機は日本語／英数字のみ表示可能です。
- iPod/iPhone 本体のイコライザー設定は解除してください。音質が悪くなる場合があります。
- iPod/iPhone 側で標準アプリの「ミュージック」以外のプレイヤーを使って曲を再生している場合、タイトル情報や再生時間、アートワーク、現在再生中の曲リストの曲数が正しく表示されない場合があります。

* 1… iPod/iPhone によっては、ランダムトラック／ランダムアルバム／再生と切り替わります。
ランダムアルバムに切り替えると、現在のトラックリストの曲順をアルバム単位で順不同にして再生します(アルバム内は順番に再生します)。

USBメモリーの音楽を聴く

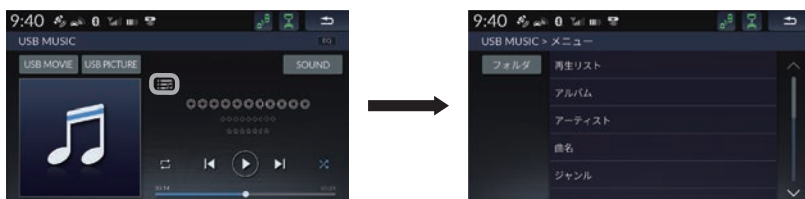
※USBメモリーを本機と接続(P.25)しておく必要があります。

1 **HOME**を押して、**USB**をタッチする。



選曲モードから選曲する

をタッチして選曲モード画面にします。



選曲モード	動作
再生リスト	全曲をトラックリストに再生します。再生する曲を絞らず、また、全曲リストから選曲します。
アルバム	全曲をアルバムごとに再生します。再生する曲を絞らず、また、アルバムリストから選曲します。
アーティスト	選んだアーティストの曲に絞って再生します。また、アーティストリストから選曲します。
曲名	曲名リストから選曲します。また、選んだ曲名の曲に絞って再生します。
ジャンル	ジャンルリストから選曲します。また、選んだジャンルの曲に絞って再生します。

お知らせ

フォルダ をタッチして、フォルダリストから選曲します。また、再生する曲を絞らず、全曲をフォルダごとに再生します。

USBメモリーの音楽を聴く

早戻し／早送りする

- 1 **⏮** / **⏭** をタッチし続ける。
※ 指を離すと通常再生に戻ります。

一時停止する

- 1 **⏸** をタッチする。
※ 一時停止中に **▶** をタッチすると再生に戻ります。

リピート／ランダム再生する

※ AVRCPver.1.4以上でリピート／ランダム再生可能なBluetooth®Audio機器を接続している場合のみ再生モードが選べます(機器によってはモードが正しく反映されない場合があります)。

- 1 **🔄** / **🎲** を選んでタッチして再生モードを選択する。

再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、表示灯を消灯させる。



再生モード名	動作
🔄 リピート	タッチするたびに、1曲リピート / リピートアルバム / リピートフォルダ / 通常再生を切り替えます。 1曲リピート : 再生中の曲を繰り返し再生します。 リピートアルバム : 再生中のアルバム内の曲を繰り返し再生します。 リピートフォルダ : 再生中のフォルダ内の曲を繰り返し再生します。
🎲 ランダム	タッチするたびに、ランダム / 通常再生を切り替えます。 (リピートでリピートアルバム / リピートフォルダに切り替えている場合は、「ランダム」をタッチすると、リピートアルバム・ランダム / リピートフォルダ・ランダムに切り替えます。再度「ランダム」をタッチするとランダムを解除します。) ランダム : 曲を順不同に再生します。 リピートアルバム・ランダム : 再生中のアルバム内の曲を順不同に再生します。 リピートフォルダ・ランダム : 再生中のフォルダ内の曲を順不同に再生します。

お知らせ

プレイリスト以外のカテゴリーから選曲したときは、リピート再生中にランダムやアルバムランダム再生を行ってもリピート再生は継続します。

USBメモリーの画像を見る

※USBメモリーを本機と接続(P.25)しておく必要があります。

1

HOMEを押して、**USB** → **USB PICTURE** をタッチする。

再生する動画を選ぶ

1つずつ画像を戻したり進めたりする	◀ / ▶ を押す。 お知らせ 操作ボタン非表示時に左右ヘドラッグ/フリックしても画像を戻したり進めたりできます。
画像リストから選ぶ ※スライドショー中は操作できません。	① ☰ をタッチする。 ※ ☰ は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。 ② フォルダ を選んでタッチする。 ③ 再生したい画像を選んでタッチする。

スライドショーで画像を見る

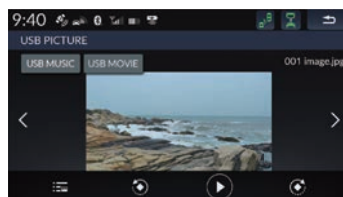
☰ → **フォルダ** をタッチし、任意のフォルダを選択する。

※ 現在選択中のフォルダ内の画像ファイルをスライドショーします。

1

▶ をタッチする。

※ **▶** は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。



スライドショーを終了する

終了 をタッチする。

※ **終了** はスライドショー中に画面をタッチすると表示されます。

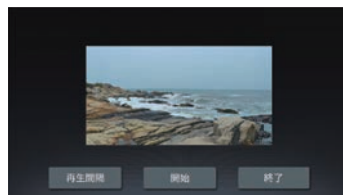
再生間隔を変える

① **再生間隔** をタッチする。

※ **再生間隔** はスライドショー中に画面をタッチすると表示されます。

② **再生間隔の時間** を選んでタッチする。

③ **閉じる** → **開始** をタッチする。




USBメモリーの画像を見る

表示中の画像を回転させる

※スライドショー中は操作できません。

1  /  をタッチする。



※  は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。

※  をタッチするたびに表示中の画像が90° ずつ時計回りに回転します。

※  をタッチするたびに表示中の画像が90° ずつ反時計回りに回転します。

スライドショーで画像を見る

お知らせ

- スライドショー中はフリックやドラッグなどの操作ができません。
- 画面を2回タッチすると全画面表示に切り替わります。また5秒間操作をしないと、自動的に全画面表示に切り替わります。
-  は画像再生中に画面をタッチすると表示されます。
- **終了** をタッチすると、画像再生画面に戻ります。
- **再生間隔** をタッチすると、スライドショーの再生間隔を設定できます。スライドショー中に画面をタッチすると、スライドショーを終了します。
- 再生可能な画像ファイルについては下記をご覧ください。
再生可能な画像ファイルについて ( P.112)


USBメモリーの動画を見る

※USBメモリーを本機と接続(P.25)しておく必要があります。

1

HOMEを押して、**USB** → **USB MOVIE**をタッチする。

再生する動画を選ぶ

1つずつ画像を戻したり進めたりする	 /  を押す。
動画リストから選ぶ	<p>① をタッチする。 ※ は動画再生中に画面をタッチすると表示されます。</p>  <p>② 表示されるリストから再生したい動画を選んでタッチする。</p> <div data-bbox="346 714 664 917"><p>リストを変更して選ぶ</p><p>① をタッチする。</p><p>② フォルダを選んでタッチする。 ※ フォルダをタッチした場合は、リストからフォルダを選んでタッチしてください。</p><p>③ 再生したい動画を選んでタッチする。</p></div> 

早戻し／早送りする


1  / をタッチし続ける。

※ 指を離すと通常再生に戻ります。

一時停止する

1 をタッチする。

※ は動画再生中に画面をタッチすると表示されます。

※ 一時停止中に をタッチすると再生に戻ります。

お知らせ

- 画面を2回タッチすると全画面表示に切り替わります。また5秒間操作をしないと、自動的に全画面表示に切り替わります。
- 再生可能な動画ファイルについて(P.114)

Bluetooth® Audioの機器登録とペアリング

Bluetooth® Audio機器を再生するための準備

Bluetooth® Audioを聴くには、あらかじめBluetooth® Audio機器の登録とペアリングをしておく必要があります。

Bluetooth® デバイスのサポート情報はP.107をご参照ください。

Bluetooth® Audio機器を本機に登録する

Bluetooth® Audio機器の登録は、本機とBluetooth® Audio機器の両方を操作して行います。本書では、本機の操作方法のみ説明していますので、Bluetooth® Audio機器の説明書もご覧になりながら登録を行ってください。

※Bluetooth® Audio機器の登録を行う際には、誤登録を防ぐため周囲の他のBluetooth® 対応機器の電源はお切りください。

- 1 **HOME** を押して、**Bluetooth® Audio** → **接続設定** → **機器登録** をタッチする。



- 2 Bluetooth® Audio機器側を操作して登録を行う。

お知らせ

登録する機器の仕様によっては、パスキーの入力が不要(セキュアシンプルペアリング)の場合があります。Bluetooth® Audio機器および本機に表示されている数字が同じであることを確認し、**はい** をタッチすると登録が完了します。

ペアリングする

ペアリング… Bluetooth® Audioを再生するとき、登録した機器のうちどの機器をBluetooth® 接続するかを設定すること。

- 1 **HOME** を押して、**Bluetooth® Audio** → **接続設定** をタッチする。
⇒登録機器一覧画面が表示されます。

- 2 ペアリングするBluetooth® 対応機器の **🎵** をタッチする。

※Bluetooth® 対応機器が登録されていて、かつBluetooth® 対応機器側のBluetooth® 機能がONになっている場合のみ、ペアリングできます。

※ **🎵** をタッチして接続します。接続が成功したら、ボタンが青色になります。解除する場合は再びタッチして、接続を切ります。

タッチするたびに接続⇔解除が切り替わります。

※接続済み/非接続のインジケータの説明はP.46をご参照ください。



Bluetooth® Audioの機器登録とペアリング

お知らせ

- 本機に登録できるBluetooth® 機器は最大5台です。既に5台登録されている場合、新たな機器を登録するには、5台のうち1台を登録から削除する必要があります。
- Bluetooth® 電話・Bluetooth® Audioを接続できるBluetooth® 機器は各1台までです。
- 本機に登録済みのBluetooth® Audio機器を登録しなおす場合は、本機で登録を削除してから登録操作を行ってください。
- 安全上の配慮から車が完全に停止した場合のみ操作することができます。
- CarPlay接続時はBluetooth® 電話が自動的に解除されます。

登録した機器の一覧を見る

1

[HOME]を押して、**Bluetooth® Audio** → **機器切替** をタッチする。

⇒登録機器一覧画面が表示されます。

登録を削除する

1

登録機器一覧画面で、削除したい機器の  をタッチする。

Bluetooth® Audioを聴く

※あらかじめBluetooth® Audioの機器登録とペアリング(P.45)しておく必要があります。

1

[HOME]を押して、**Bluetooth® Audio** をタッチする。



お知らせ

- 上記の画面表示や操作ボタンは、機器によって一部表示されない場合があります。
- 接続機器によっては、音声出力や画面表示するのに時間がかかる場合があります。
- 接続機器によっては、接続機器側の音楽プレーヤーを起動する必要があります。また、音楽プレーヤー再生中でないと正しく操作できない場合があります。

Bluetooth® Audioを聴く

お知らせ

- 接続機器や使用する音楽プレーヤーによっては、本機から操作できない場合があります。その場合は、接続機器側で操作してください。
- 接続するスマートフォンで複数のアプリを起動している場合、本機から操作できなったり、その場合は、Bluetooth® Audioに切り替える前に全てのアプリを終了して、Bluetooth® Audioを接続し直してください。
- 接続機器や使用する音楽プレーヤーによっては、ジャケット写真を表示しない場合があります。
- 接続機器によっては、本機の表示内容が接続機器の表示と一致しない場合があります。
- 接続機器や本機との接続状況によっては、Bluetooth® Audioを使用する際に、接続機器側の音声出力先を本機に設定する必要がある場合があります。(例：iPodとケーブル接続している場合)
- 接続機器によっては自動で再生しない場合があります。そのときは▶️をタッチしてください。
- 接続機器がBluetooth® 接続できない状況(接続機器の電源が入っていない、接続機器側でBluetooth® 接続をOFFにしているなど)の場合はBluetooth® 接続できません。
- Bluetooth® 対応オーディオ機器または、携帯電話、スマートフォンに搭載されている既存の音楽再生アプリ以外では正常に動作しない場合があります。
- 携帯電話、スマートフォン、Bluetooth® 対応オーディオ機器の操作につきましては、各機器の取扱説明書をご確認ください。

選曲する

1 曲ずつトラックを戻したり進めたりする

◀️ / ▶️ を押す。

トラックリストから曲を選ぶ

※ AVRCPver. 1.3以下では操作できません。

- ① トラックリスト表示にする。
- ② 再生したい曲を選んでタッチする。



再生する

1 ▶️ をタッチする。

※再生中に▶️をタッチすると一時停止に戻ります。

一時停止する

1 ⏸ をタッチする。

※一時停止中に▶️をタッチすると再生に戻ります。

Bluetooth® Audioを聴く

リピート／ランダム再生する



※AVRCPver.1.4以上でリピート／ランダム再生可能なBluetooth®Audio機器を接続している場合のみ再生モードが選べます。(機器によってはモードが正しく反映されない場合があります。)

1  /  を選んでタッチする。





再生モードを解除する

表示灯が点灯しているボタンをタッチし、表示灯を消灯させる。



再生モード名	動作
 リピート	タッチするたびに、全曲リピート / 1曲リピート / 通常再生を切り替えます。 ※ Bluetooth®Audio対応機器の機種によって、アイコンが表示されない場合があります。
 ランダム	タッチするたびに、ランダムトラック / 通常再生を切り替えます。 ※ Bluetooth®Audio対応機器の機種によって、アイコンが表示されない場合があります。

お知らせ

- お使いのBluetooth®機器が対応していない場合や、情報が取得できない再生モードは表示しません。
- リピート、グループリピート、オールリピート再生中は、ランダムやグループランダム再生を行ってもリピート再生は継続されます。
- Bluetooth®機器や再生アプリによって、 /  をタッチしてもハイライト表示されず、機能しない場合があります。また、ボタンがハイライト表示されますが、機能しない場合もあります。
- Bluetooth®機器や再生アプリによって、 をタッチして「このデバイスはサポートされません」というメッセージが表示される場合があります。
- Bluetooth®機器や再生アプリによって、 をタッチして、更にフォルダボタンをタッチすると、フォルダ画面に遷移しますが、フォルダ一覧が表示されない場合があります。
- Bluetooth®機器や再生アプリによって、本機で早送り / 早戻しを操作しても機能しない場合があります。
- Bluetooth®機器や再生アプリによって、Bluetooth®音楽再生できますが、プログレスバーが動かない場合があります。
- Bluetooth®機器、楽曲や再生アプリによって、楽曲の情報(曲名、歌詞、アーティストなど)が表示されないまたは「unknown」で表示される場合があります。
- Bluetooth®機器、楽曲や再生アプリによって、音声出力と楽曲情報の表示が一致していない場合があります。
- Bluetooth®機器、楽曲や再生アプリによって、楽曲情報が文字化けする場合があります。(例えば、中国語の楽曲を再生する場合)

HDMIの映像を見る

※HDMI接続ジャック(標準装備/別売)または別売のHDMI接続コードにHDMI出力機器を本機に接続することで、映像や音声を本機に入力し、再生できます。

HDMI(Eタイプ)とは



HDMIのEタイプはHDMIの車載用コネクタのため、家庭用のHDMIケーブルは接続できません。別売のHDMI接続コードをお買い求めください。

車両によっては、HDMI接続コードの代わりに標準装備または別売のHDMI接続ジャックに接続する場合があります。HDMI接続ジャックは、Honda販売店にご確認ください。

お知らせ

- 対応する画像方式は480p、720pまたは1080pです。
- 安全のため、走行中映像を見ることができません。その後、何も操作せず停車した場合、自動で映像表示に切り替わります。

注意

- HDMI出力機器の映像をご覧になるときは、安全な場所に停車してください。

アドバイス

- お手持ちのiPod/iPhoneをHDMI変換ケーブルに接続することで映像をご覧になることができます。別途Apple純正の変換ケーブルが必要です。
- HDMI出力機器の接続方法については、Honda販売店にご確認ください。

HDMIの映像を表示するには

1 HDMI出力機器を接続する。

2 **HOME** を押して、**HDMI** をタッチする。



HDMI出力機器の映像を表示します。

お知らせ

- 接続したHDMI出力機器の操作方法については、各機器付属の取扱説明書をご覧ください。
- HDMI出力機器を接続すると、HOME画面にあるHDMIボタンがグレーアウト状態からアクティブ状態になります。
 - ※自動的にHDMI画面には切り替わりません。
- HDMI機能使用中、接続デバイスの画面ミラーリング機能の使用はご遠慮ください。

HDMIの映像を見る

お知らせ

- 接続する機器やケーブル類、それらの組み合わせにより、正常に作動しない場合があります。
- 接続機器がHDMI入力に対応する映像信号でも正常に再生できない場合があります。詳しくは接続機器の取扱説明書をご確認ください。

サウンド設定をする

1 [HOME]を押して、**設定/情報** → **サウンド** をタッチする。

2 サウンド画面の各ボタンをタッチして、設定を行う。

サウンド画面では、以下の設定を行うことができます。



お知らせ

オーディオ OFFのときはオーディオ設定はできません。オーディオ ONにしてから設定してください。

フェード・バランス設定をする

1 サウンド画面で“FADE/BALANCE”の**詳細設定**をタッチする。

2 ▼/▲/◀/▶をタッチして、調整する。

▼	前スピーカーの音量が下がる。
▲	後スピーカーの音量が下がる。
◀	右スピーカーの音量が下がる。
▶	左スピーカーの音量が下がる。



前後左右のスピーカーの音量バランスをセンターに戻します。

サウンド設定をする

イコライザー設定をする

イコライザー(EQ)とは、特定の周波数帯域を強調または減衰することで、音質の補正(平均化)や改善、あるいは積極的な音作りに使用される音響機能です。

※交通情報を聴いているときは本設定はできません。

- 1 サウンド画面で“イコライザープリセット”の **VOCAL** / **ROCK** / **JAZZ** / **USER** から好みのイコライザー設定を選んでタッチする。

イコライザー種類	説明
VOCAL	人の声を強調
ROCK	ロックスタイル
JAZZ	ジャズスタイル
USER	カスタマイズ可能

イコライザー設定を解除する

OFF をタッチする。

お知らせ

USER は初期値が OFF (各帯域のレベルが全てゼロ) ですので、イコライザーで好みのレベルに調整してください。

イコライザープリセットの設定値を変更する

- ① サウンド画面で“イコライザープリセット”の **詳細設定** をタッチする。
- ② 設定値の変更をしたいボタン(**VOCAL** / **ROCK** / **JAZZ** / **USER**)を選んでタッチする。
- ③ 各帯域の ▲ / ▼ をタッチしてレベルを調整する。
- ④ **登録** をタッチする。



周波数帯域

イコライザーのレベルを青色バーで表示
※この表示部分をタッチしてもレベル調整が可能です。

手順②で選んだボタンの設定値を初期値に戻します。

サウンド設定をする

車速連動音量を設定する

車の速度に応じてオーディオ音量を自動調整するよう設定できます。

- 1 サウンド画面で **車速連動音量** をタッチする。
- 2 **HIGH** / **MIDDLE** / **LOW** / **OFF** から選んでタッチする。

HIGH	速度に応じて、音量が大きく変化
MIDDLE	速度に応じた音量変化がHIGHとLOWの間
LOW	速度に応じて、音量がゆるやかに変化
OFF	音量の車速連動をしない

お知らせ

車速連動音量の設定により自動で音量調整されるのは、オーディオ音量のみです。

スピーカーの音域レベルを設定する

- 1 サウンド画面で **TRE·MID·BASS** をタッチする。
- 2 **-** / **+** をタッチして各音域の出力レベルを設定する。

お知らせ

0dBが標準で、マイナス値にすると出力が小さくなります。

携帯電話との連携

Bluetooth [®] 設定	44
電話を使う	48
ハンズフリーで通話する	51
電話を使う	54
よくかける電話番号を登録する	55
アドレス帳や履歴を消去する	56
ハンズフリーフォンの通話設定をする	57
電話のアドレス帳 / 履歴を本機に転送する	58

Bluetooth® 設定

Bluetooth®に関する設定が行えます。

Bluetooth® 機器を登録してペアリングする

市販されている Bluetooth® 機器を Bluetooth® 機能を使って本機に接続できます。

1 Bluetooth® (ブルートゥース) とは

Bluetooth® は近距離(数メートル以内)での機器接続に特化した無線通信規格です。電波を使用しているため指向性を持ちません。その特性により遮蔽物があっても通信可能となり、たとえば胸ポケットやカバンの中に携帯電話を入れたままで接続するような使い方が可能になります。

お知らせ

本機は Ver.4.20 + EDR に対応しています。

2 対応プロファイル

Bluetooth® Audio	A2DP(v1.3以下) AVRCP(v1.6以下)
ハンズフリー	HFP(v1.7以下)
アドレス帳転送	PBAP(v1.2以下)
シリアル通信	SPP(v1.2以下)

お知らせ

- 本機は Bluetooth® レシーバーを内蔵しています。
- ご利用の Bluetooth® 機器の取扱説明書に従って操作してください。
- 接続中に Bluetooth® 機器での操作(受話操作など)を行うと正しく動作しない場合があります。
- 登録に失敗することがあります。再度、登録してください。

お知らせ

- 本機と Bluetooth® 機器の距離、車内の状況、遮蔽物の種類によっては通信速度が落ちる場合や登録できない場合があります。この場合本機にできるだけ近い位置に Bluetooth® 機器を置いてください。
- Bluetooth® 対応機器であっても特性や仕様により正常に動作しない場合があります。
- 最新の接続確認結果については、弊社ホームページをご覧ください。
<https://www.honda.co.jp/navi/support/>
- Bluetooth® 機器は、最大5台まで登録できます。
- Bluetooth® Audio で使用するプロファイルは、AUDIO ソースが Bluetooth® Audio のときのみ接続されます。
- Apple CarPlay、Android Auto を利用中は、下記の Bluetooth® 機能が制限されます。
 - Bluetooth® 機器の登録、設定変更ができません。
 - ハンズフリー接続中に Apple CarPlay を利用すると、ハンズフリー(HFP)接続は解除されます。
 - ハンズフリー接続中かつ通話中の携帯電話と Apple CarPlay に接続している携帯電話が異なる場合、ハンズフリー通話が終了するまで、ハンズフリー接続は解除されません。
 - ハンズフリー接続中に Android Auto を利用すると、接続中の Android 端末とハンズフリー(HFP)接続され、他の機器のハンズフリー(HFP)接続は解除されます。
 - Bluetooth® で接続をした iPhone または Android 端末で Apple CarPlay または Android Auto を利用すると、Bluetooth® Audio は解除されます。
- 携帯電話、スマートフォン側のソフトウェアのバージョンや仕様変更により、正常に作動しない場合があります。

Bluetooth® 設定

設定画面を表示する

Bluetooth® の設定画面を表示します。

- 1 **HOME** を押して、**電話** → **接続設定** にタッチする。

Bluetooth® 接続機器画面を表示します。



接続可能な Bluetooth® 機器を検索して登録する

お知らせ

Bluetooth® 機器側から本機を検索して、登録します。

- 1 接続したい Bluetooth® 機器の Bluetooth® 機能を ON にする。

- 2 Bluetooth® の設定画面(P.47)を表示中、**ON** をタッチする。
本機の Bluetooth® 機能が使用可能な状態になります。

- 3 **機器登録** をタッチする。



- 4 **パスキーの確認** を行う。

Bluetooth® 機器に表示されているパスキーと本機の画面に表示されているパスキーが同じであれば **はい** をタッチします。

※ パスキーがもし違う場合は、Bluetooth® 機器側の操作をやり直してください。



Bluetooth® 設定

接続が完了すると、画面上部にBluetooth®、Bluetooth®機器のバッテリー残量と電波強度のアイコンが表示されます。

お知らせ

登録が完了すると次回以降自動で接続します。

Bluetooth® 機器をペアリングする


複数台のBluetooth® 機器を登録した場合、ペアリングするBluetooth® 機器を選択する必要があります。

1

HOME を押して、電話 → 接続設定 をタッチする。

2

接続したい“機器名”にタッチする。

登録したBluetooth® 機器を接続するには、該当機器右側の  をタッチしてください。



Bluetooth® 機器の接続が完了します。

お知らせ

本機起動時、前回接続したデバイスと自動的に接続します。もし前回接続したデバイスがない場合、手動で他のデバイスと接続する必要があります(ペアリングしたことがあるデバイスの場合は、ペアリングリストで接続可能。新規デバイスの場合は、新規ペアリングする必要があります)。


※ 1 台で  /  同時に選択できます。

Bluetooth® 設定機能	Bluetooth® 対応機器状態
通信機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。	 接続中を示します。
	 非接続中を示します。
Bluetooth® Audio機能が使用できる機器名の横に以下のアイコンを表示します。	 接続中を示します。
	 非接続中を示します。

Bluetooth® 設定

Bluetooth® 機器を削除する

登録されている Bluetooth® 機器を削除します。

1  をタッチする。

2 削除したい機器名の“チェックボックス”をタッチし、選択する。

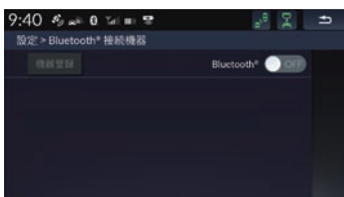
登録されていた機器が消去されます。

お知らせ

はい をタッチすると選択した機器の削除が完了します。



3 Bluetooth® (ON/OFF) をタッチする。



● OFF にタッチする





● ON にタッチする



電話を使う

ハンズフリー電話の使いかたについて説明します。

警告

	<p>ご使用になる前に、安全な場所に車を止めた状態で、着信音量、受話音量、送話音量の確認を行ってください</p> <p>事故の原因となることがあります。 [音量設定] で適度な音量に設定し、ご使用ください。 →「設定できる項目について」(P.74)</p> <p>音量が大きすぎたり、小さすぎたりすると運転中の意識がそれ、事故の原因となり危険です。</p>
	<p>運転者は運転中に携帯電話を手にもって使用しない</p> <p>走行中に携帯電話を手にもって使用することは法律で禁止されています。</p> <p>また携帯電話を放置しない</p> <p>停車したときやカーブを曲がる時に携帯電話が足下に転がりブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。</p>

お知らせ

- ハンズフリー電話を使用するときの通話料はお客さまのご負担となります。
- 本機で表示できない文字列(絵文字や特殊文字など)は記号(例：細長い四角形)で表示されますが故障ではありません。

電話を使う

電話がかかってくる(着信する)

着信音が鳴り、着信中画面が表示されます。



お知らせ

- 着信時、携帯電話の着信音が取得できた場合は、携帯電話の着信音が鳴ります。取得できなかった場合は、本機が用意した着信音が鳴ります(いずれも車両のスピーカーから鳴ります)。
- アドレス帳のデータ読み込みが行なわれていない場合、登録されていない連絡先と同様に名前は空欄となります。
- ハンズフリー電話は、インターネットを使用した通話には対応しておりません。
- Bluetooth対応オーディオ機器や携帯電話、スマートフォンを本機に接続している状態で、他の外部通信機器(無線LAN)などでデータ通信を使用すると通信中の電波の影響で、正常に作動しない場合があります。
- Bluetooth対応オーディオ機器や携帯電話、スマートフォンを本機に接続している状態で、外部通信機器(無線LAN)などの電波の影響で繋がりにくくなったり、音飛びする場合があります。
- 国際ダイヤルアシストを設定をされている場合、電話番号の最初に「+81」が表示されることがあります。携帯電話側の設定をご確認ください。
- 通話中や、着信、通話切替時にノイズやエコーが生じる場合があります。

かかってきた電話に出る

1

応答 をタッチする。

お知らせ

運転中など、通話できない状況では **拒否** をタッチすることで通話を拒否できます。



2

通話中の操作



電話を使う

音量を調整する

通話時などに、車両スピーカーから聞こえる受話音量を調整できます。

1

音量設定 をタッチする。

2

- または **+** をタッチし調整する。

送話音量を調整します。



お知らせ

- 着信時にこの操作を行うと着信音量の変更が行えます。
- 着信音量、受話音量は [音量設定] であらかじめ設定できます。→「音量設定」(P.74)
- 本機に接続している携帯電話および通話相手の電話機によって、受話音量、送話音量に差が生じる場合があります。
- [ミュート] をタッチすると、通話相手に車両側の音声が届かないようにし、遮断することができます。
- [ハンズフリーオフ] をタッチすると、Bluetooth® 接続されている携帯電話で直接通話することができます。本機のハンズフリー機能に戻す場合は、[ハンズフリー] をタッチします。

ダイヤルトーンを入力する

通話中にダイヤルトーンを入力できます。音声ガイダンスなどの番号入力時に使用します。

1

キーボード をタッチする。

2

入力したい「番号」、「記号」をタッチする。

0 ~ **9**、*****、**#** が入力できます。

ハンズフリーで通話する

電話を終了する

通話を終了します。

1

通話終了 をタッチする。
通話終了をタッチする。



ハンズフリーで電話するには、あらかじめ携帯電話を本機と Bluetooth® 接続しておく必要があります。

割り込み通話画面

通話中に別の相手から電話がかかってくると、着信中画面が表示されます。

割り込み通話の着信

1

別の相手からの着信中



割り込み通話の応答

1

応答ボタンをタッチすると、通話が始まり、通話中画面が表示されます。

通話切替



お知らせ

- 通話切替をタッチすることで、通話先の相手を切り替えることができます。

ハンズフリーで通話する

お知らせ

- 応答を保留するには、携帯電話側が応答保留に対応している必要があります。(対応していない携帯電話ではメッセージが表示されます。)
- 保留中も相手には通話料金がかかります。

お知らせ




通話中の着信拒否について

- 着信の場合、相手には本機能で拒否された旨は通知されません。
※ 電話を突然切られたような状態になります。


自動応答保留について

- 保留中も、相手には通話料金がかかります。
- 自動応答保留を行うには、携帯電話側が応答保留に対応している必要があります。

1 操作したいボタンを選んでタッチする。







	自分の声を相手に聞こえないようにします。(相手の声は聞こえます。)
ハンズフリーオフ	ハンズフリーをやめて、携帯電話での通話に切り替えます。 ※ 携帯電話に切り替えると、 ハンズフリーオフ が ハンズフリー に変わります。 ハンズフリー をタッチすると、ハンズフリーでの通話に戻ります。
キーパッド	0 ～ 9 、 * 、 # が表示されるので、タッチするとトーン入力を行います。 ※ 走行中はトーン入力できません。
通話終了	電話を切って通話を終了します。
	通話切替
音量設定	

お知らせ

- 通話中の本機の通話時間表示と携帯電話の通話時間表示は同じになりません。(通話時間は目安です。)
- 接続する携帯電話によっては、通話終了時に本機画面がしばらく切り替わらない場合があります。
- 走行中に携帯電話での通話に切り替えて、運転者が通話することはおやめください。
- 通話先の相手によっては、トーン入力ができない場合があります。
- ハンズフリー通話中に、別の電話がかかってきたとき、本機で2通目の電話に出ると、1通目の通話が保留状態に切り替わります。画面上の通話切替ボタンをタッチすると、2通の通話の間で切り替えることができます。

ハンズフリーで通話する

2 電話をかける方法を選んでタッチする。

ダイヤル	電話番号を入力して、  をタッチする。既にBluetooth®接続している携帯電話で本機のハンズフリーフォン機能を利用して通話した場合、電話番号を入力せずに リダイヤル をタッチすると、前回通話した電話番号が自動表示されます。再度  をタッチすれば、その電話番号にリダイヤルできます。
履歴	① 発着信・不在着信履歴から電話をかける。 ② 履歴リストから電話をかける相手を選んでタッチし、  をタッチする。 ※ 発着信履歴・不在着信履歴を見る ( P.56)
アドレス帳	① あらかじめ携帯電話のアドレス帳を本機に転送しておく、アドレス帳から電話をかけることができる。 ※ 携帯電話のアドレス帳・発着信履歴を本機に転送する ( P.56) ② 電話をかける相手をタッチして、更に電話番号を選んでタッチする。
ワンタッチダイヤル	ワンタッチダイヤル画面が表示され、あらかじめ登録した電話番号に電話をかける。 ※ 携帯電話のアドレス帳・発着信履歴を本機に転送する ( P.56)
データ読込	携帯電話から履歴とアドレス帳を読み込む。

携帯電話のアドレス帳や履歴を本機に転送する

Bluetooth®で接続している携帯電話のアドレス帳や履歴を本機で表示し、利用できます。ここでは、携帯電話のアドレス帳や履歴の同期設定を行います。

1 電話画面を表示する。

2 電話 または 履歴 にタッチする。

PBAP 接続に対応していない携帯電話の場合、アドレス帳と発着信履歴の転送はできません。

電話を使う

電話画面を表示する

通話中にダイヤルトーンを入力できます。音声ガイダンスなどの番号入力時に使用します。

1 [HOME] を押して、**電話** をタッチする。

電話画面を表示します。



携帯電話を接続する

本機と携帯電話は、Bluetooth® 機能を使用して接続します。

1 電話画面を表示する。

2 **接続設定** をタッチする。

以降、接続のしかたについては「Bluetooth® 機器を選択する」(P.45)をご覧ください。
以降の操作方法については、接続が完了している状態を説明しています。

お知らせ

- Bluetooth® 接続ができる携帯電話が必要です。
- ご利用の携帯電話の取扱説明書に従って操作してください。
- 最新の接続確認結果については、弊社ホームページをご覧ください。

携帯電話を接続する

Bluetooth® で接続している携帯電話のアドレス帳や履歴を本機で表示し、利用できます。ここでは、携帯電話のアドレス帳や履歴の同期設定を行います。

よくかける電話番号を登録する

リストによくかける電話番号をまとめておくことができます。

ワンタッチダイヤルについて

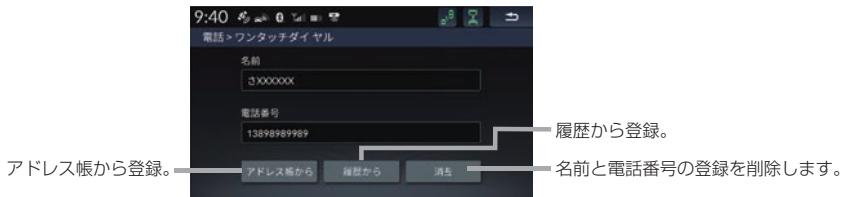
ワンタッチダイヤルは、あらかじめ電話番号を登録しておくことで、少ない操作回数で電話発信できる機能です。(ワンタッチダイヤルは5件まで登録できます。)

ワンタッチダイヤルの電話番号を登録/消去する

- ① **[HOME]**を押して、**電話** → **ワンタッチダイヤル** をタッチする。

⇒ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

- ② 登録したい場所の **編集** を選んでタッチする。



お知らせ

- アドレス帳または履歴の転送がされていない場合、**履歴から** と **アドレス帳から** が操作できません。
- 名前と電話番号が登録されていない場合、**消去** が操作できません。

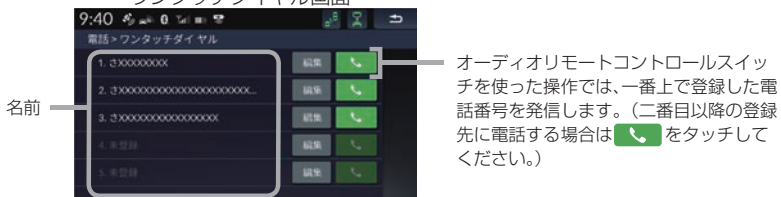
車両のオーディオリモートコントロールスイッチを使ってワンタッチダイヤルで電話発信する

- ① オーディオリモートコントロールスイッチのオフフック機能キーを押す。

⇒ワンタッチダイヤル画面が表示されます。

- ② オーディオリモートコントロールスイッチのオフフック機能キーを押す。

ワンタッチダイヤル画面



- ③ 発信確認のメッセージを確認して、オーディオリモートコントロールスイッチのオフフック機能キーを押す。

⇒発信を開始します。

お知らせ

オンフック機能キーを押すと、電話を切ることができます。

アドレス帳や履歴を消去する

タイプ別の操作を行う

1 履歴リスト画面



履歴をすべて削除する

リストから履歴を選択して発信する

2 着信履歴 / 不在着信履歴を全件消去する。

全消去 をタッチする。
履歴を全件消去します。



発信	発信履歴のリストを表示します。
着信	着信履歴のリストを表示します。
不在着信	不在着信履歴のリストを表示します。
全消去	履歴を全件消去します。

3 アドレス帳画面について

ひらがなリスト送り



アドレス帳を全件消去します

全消去 をタッチする。

アドレス帳を全件消去します

はい をタッチする。



お知らせ

同期後、携帯電話のアドレス帳を編集しても、リアルタイムに本機側へ反映されません。携帯電話の情報を最新にするには、**データ読み込み** をタッチして、再度読み込んでください。

PBAP非対応の携帯電話を本機へ接続したとき、履歴は本機と接続中に発信したものをのみ表示します。

ハンズフリーフォンの通話設定をする

1

[HOME]を押して、**設定／情報** → **音量&操作音** をタッチする。

2

各項目の設定ボタン(**-** / **+** など)をタッチして設定する。

着信音量

着信時の呼び出し音の音量を **-** / **+** で設定できます。

受話音量

通話中の相手の声の音量を **-** / **+** で設定できます。

送話音量

通話中の相手に伝わる自分の声の音量を **-** / **+** で設定できます。

電話のアドレス帳/履歴を本機に転送する

あらかじめ携帯電話を本機とBluetooth®接続しておく必要があります。

※Bluetooth®対応機器のBluetooth®接続をする(P.45)

1 [HOME]を押して、**電話** → **データ読込** をタッチする。

2 転送したい携帯電話の**データ読込**をタッチする。



3 データ送信を開始する。

自動でアドレス帳・発着信履歴の転送が開始されます。

⇒携帯電話によっては携帯電話側で転送を開始する操作が必要な場合があります。

お知らせ

- 携帯電話の機種によって同期が正常に行われない場合があります。PBAPに対応していない携帯電話は、アドレス帳との同期はできません。
- 同期する際に、携帯電話側で同期の確認画面が表示される場合や設定が必要な場合があります。携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書をご確認ください。
- アドレス帳は最大1000件、発信 / 着信 / 不在着信はそれぞれ最大15件まで同期することが可能です。ただし、携帯電話の登録件数によって変化します。

お知らせ

本機のアドレス帳について

- アドレス帳は携帯電話ごとに別々に保存されます。(転送したアドレス帳は別の携帯電話では使用できません。)
- 本機のアドレス帳は自動的に更新されません。携帯電話のアドレス帳を更新した際は、アドレス帳を本機に転送しなおしてください。

アドレス帳の転送について

- 安全上の配慮から車を完全に停止した場合のみ操作することができます。
- 携帯電話によっては本機へアドレス帳を転送できない場合があります。
- 本機のメモリがいっぱいになったり(1台あたり最大1000件)、不正なデータがある場合、転送は終了されます。
- すでに本機に転送されたアドレス帳は本機に保存されます。
- 転送中に車のエンジンスイッチを変更した場合、読み出しは中止されます。その場合は、読み出しをやりなおしてください。(故障のおそれがありますので、読み出し中はエンジンスイッチを変更しないようご注意ください。)
- 転送中に着信があった場合、Bluetooth®接続では携帯電話の機種により着信が優先される場合があります。
- シークレットメモリの読み出しはできません。(携帯電話の機種によっては読み出しができる場合があります。)
- 読み出しできる文字数・桁数を記載してください。
- 特殊な漢字や記号は表示できない場合があります。
- 携帯電話の機種によってオーナー番号(お客様自身の番号)も登録される場合があります。
- アドレス帳の件数によって、同期開始から同期完了まで2分ほどかかる場合があります。

スマートフォン連携

Apple CarPlayについて	60
本機で Apple CarPlayが使用できる iPhone	60
Apple CarPlay 接続	61
利用できない機能について	62
Android Autoについて	63
本機で Android Autoが使用できるスマートフォン	63
Android Auto接続	64
利用できない機能について	65

Apple CarPlayについて

Apple CarPlayとは

Apple CarPlayは車の中でiPhoneを使うための、より優れた、より安全なシステムです。Apple CarPlayは運転中にiPhoneでしたいことを、車のカーナビ画面で直接操作できます。また、Siriの音声認識を使って、行きかたを調べる、電話をかける、メッセージを送受信する、音楽を聴くことができ、運転に集中したままご利用いただけます。(詳しくはApple CarPlayのWebサイトをご覧ください。)

お知らせ

- ワイヤレスのApple CarPlayには対応していません。
- Apple CarPlayはApple社が提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 走行中はApple CarPlayの動作が制限される場合があります。
- iPhoneの電波状態が悪い場合、Apple CarPlayの動作が制限されることがあります。
- Apple CarPlayアプリケーションの制約により、音楽再生などの操作に制限がかかる場合があります。
- iPhoneの機種や状態によっては、Apple CarPlayの動作が制限されることがあります。
- Apple CarPlayの詳細な機能などについては、<https://www.apple.com/jp/ios/carplay/>をご覧ください。
- 弊社は、Apple CarPlayをご利用いただいたことにより生じた損害については一切の責任を負いません。
- Apple CarPlayを利用しているあいだ、ユーザー情報および位置や速度などの車両情報がiPhoneにより送信されます。Apple CarPlayを利用することで、それらの利用規約に同意したことになります。
- Apple CarPlayの接続や起動は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- Apple CarPlay接続中は、もう1台のApple CarPlay/Android Autoを使用できません。

本機でApple CarPlayが使用できるiPhone

機種:	iPhone 14	iPhone 12 Pro Max	iPhone X
	iPhone 14 Plus	iPhone 12	iPhone 8
	iPhone 14 Pro	iPhone 12 mini	iPhone 8 Plus
	iPhone 14 Pro Max	iPhone 11 Pro	
	iPhone 13 Pro	iPhone 11 Pro Max	
	iPhone 13 Pro Max	iPhone 11	
	iPhone 13	iPhone Xs	
	iPhone 13 mini	iPhone Xs Max	
	iPhone 12 Pro	iPhone XR	

※ iPhoneのソフトウェアを最新バージョン(iOS 16以降)にしてお使いください。

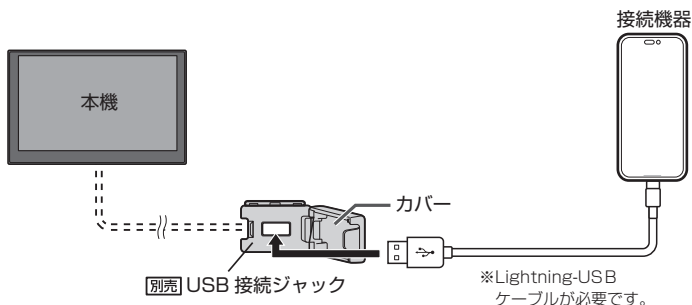
※ iOSについて詳しくはApple社のWebサイトをご覧ください。

※ iPhoneの適合ソフトウェアは、<https://www.honda.co.jp/navi/support/>。

Apple CarPlay 接続

1 iPhone を本機に接続する。

初回のみ iPhone にロック中の動作に関する設定画面や承諾画面が表示される場合があります。画面の指示に従って iPhone を操作してください。



2 [HOME] を押して、Apple CarPlay をタッチする。

※ Apple CarPlay 画面が表示されます。

3 表示される画面をタッチして操作する。

※ 表示されている iPhone の機能を本機の画面上で使用できます。以降の画面は Apple CarPlay の画面となります。(詳しくは Apple 社にお問い合わせください。)



※表示アイコンはイメージです。

Siri を使う


「準備」

iPhone 側で Siri を ON にしてください。Siri が ON になっていることを確認するには、「設定」⇒「Siri と検索」の順に選択してください。

1 オーディオリモートコントロールスイッチの キーを押す。

Siri が起動します。

2 用件を話す。

・再度オーディオリモートコントロールスイッチの  を押すと、Siri を終了します。

Apple CarPlay 接続

Apple CarPlay のマップを表示する

- 1 **マップ** アイコンをタッチする。

Apple CarPlay のマップを表示します。

お知らせ

- スマートフォン連携機能を利用する場合、接続機器側の通信料がかかる場合があります。

利用できない機能について

※ Apple CarPlay 使用中には、以下の機能がご利用できません。

USB 再生 (USB ソース)、iPod の再生 (iPod ソース)、Android Auto、すべての携帯電話との Bluetooth® 接続、ハンズフリーフォン、携帯電話のアドレス帳・発着信履歴の転送、ワンタッチダイヤルの登録、Bluetooth® の接続に関する操作。

iPhone を本機に接続する

- 1 Apple CarPlay 接続中、**HOME** → **電話** をタッチして Apple CarPlay 電話画面に遷移します。



お知らせ

iPhone の音楽再生は Apple CarPlay で行ってください。

Apple CarPlay を終了する

本機から iPhone を取り外すと Apple CarPlay 接続が解除され終了できます。

Apple CarPlay を利用中は、本機の機能が一部制限されますので Apple CarPlay を利用しないときは、Apple CarPlay を終了してください。

Android Autoについて

Android Autoとは

Android Autoとは使い慣れたアプリやサービスを車のカーナビ画面で利用できるシステムです。Android Autoは必要な情報を運転中でも安全かつ簡単に入手できるように設計されています。ナビ、音楽、電話、SNSのアプリに簡単にアクセスできます。タッチパネルの他、音声認識での簡単な操作もできるので運転に集中したままでご利用いただけます。

お知らせ

- OSの確認方法はスマートフォンなどの取扱説明書をご覧ください。
- Android AutoアプリはGoogle Playストアよりダウンロードしてください。
- スマートフォンによっては使用できない場合があります。
- Android AutoはGoogle LLCが提供するアプリケーションであり、各機能は予告なく変更・終了することがありますので、あらかじめご了承ください。
- スマートフォンの電波状態が悪い場合、Android Autoの動作が制限されることがあります。
- Android Autoの詳細な機能などについては、<https://www.android.com/auto/>をご覧ください。
- 弊社は、Android Autoをご利用いただいたことにより生じた損害については一切の責任を負いません。
- Android Autoを利用しているあいだ、ユーザー情報および位置や速度などの車両情報がスマートフォンにより送信されます。Android Autoを利用することで、それらの利用規約に同意したことになります。
- Android Autoの接続や起動は、必ず安全な場所に停車してから行ってください。
- Android Auto接続中は、もう1台のApple CarPlayを使用できません。

本機でAndroid Autoが使用できるスマートフォン

- ※Android™ OS 6.0以降を搭載している必要があります。
- ※Android Autoアプリのインストールが必要です。

Android Autoのマップを表示する

1 マップ アイコンをタッチする。

Android Autoのマップを表示します。

お知らせ

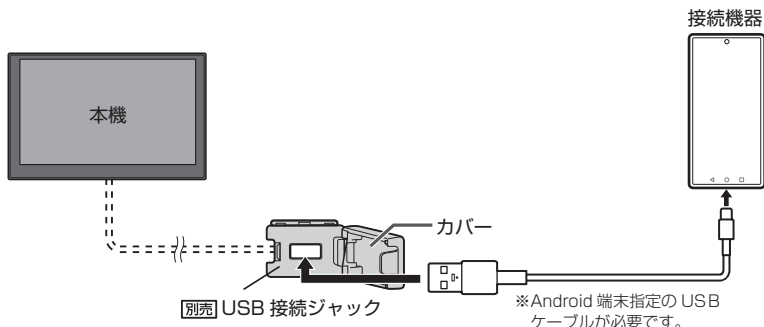
- Androidスマートフォンを本機に接続するとメインメニューの **Android Auto** に変わります。
- Android Autoの電話機能を使う場合は、Androidスマートフォンを本機とBluetooth®接続をする必要があります。スマートフォンを本機に接続すると登録および割り当て設定は、自動で行われます。
- Android Auto接続中は、接続したAndroidスマートフォンのみBluetooth®接続し、他の機器とのBluetooth®接続は切断されます。
- 本機にBluetooth®対応機器がすでに5台登録済みの場合は、一番古い機器を自動消去し、Androidスマートフォンが自動登録されます。(Android Autoの電話機能を使うためには、登録が必要です。)
- Android Autoアプリの制約により、音楽再生などの操作に制限がかかる場合があります。
- 走行中、またスマートフォンの機種や状態によっては、Android Autoの動作が制限されることがあります。
- スマートフォン連携機能を利用する場合、接続機器側の通信料がかかる場合があります。
- Androidスマートフォン推奨のUSBケーブルを使用してください。
- 充電/通信対応のUSBケーブルを使用してください。(充電専用のUSBケーブルは使用できません。)

Android Auto 接続

1 Androidスマートフォンを本機に接続する。

※ 初回のみ、下記の操作をしてください。

本体画面上にメッセージが表示されるので内容を確認して **OK** をタッチしてください。Androidスマートフォンに承諾を求める画面が表示されるので、画面の指示に従って Androidスマートフォンを操作してください。



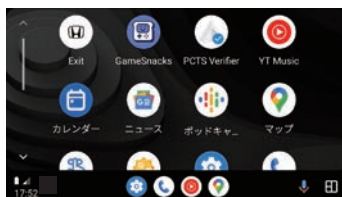
2 **HOME** を押して、**Android Auto** をタッチする。

以降の画面は Android Auto アプリケーションの画面となります。

3 表示される画面をタッチして操作する。

※ 表示されている機能を本機の画面上で使用できます。

以降の画面は Android Auto の画面となります(詳しくは <https://support.google.com/androidauto> をご覧ください。なお、URL は変更される場合があります)。



※表示アイコンはイメージです。

Google アシスタントを使う

Google アシスタントを起動する。

1 オーディオリモートコントロールスイッチの **⏮** キーを押す。

Google アシスタントが起動します。

2 用件を話す。

- 再度オーディオリモートコントロールスイッチの **⏮** を押すと、Google アシスタントを終了します。

利用できない機能について

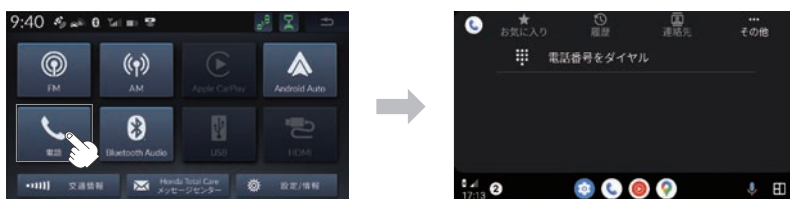
※Android Auto使用中は、一部機能が制限されます。またAndroid Auto使用中でなくても、AndroidスマートフォンをUSB接続ケーブルで本機と接続しているときも同様の動作となります。

※以下の機能がご利用できません。

Bluetooth®Audio、USB再生(USBソース)、他の携帯電話とのBluetooth®接続、ハンズフリーフォン、携帯電話のアドレス帳・発着信履歴の転送、ワンタッチダイヤルの登録、Bluetooth®接続に関する操作*1。

Android Auto対応の機器を本機に接続する

1 Android Auto接続中、**HOME** → **電話** をタッチしてAndroid Auto電話画面に遷移します。



Android Autoを終了する

本機からAndroid端末を取り外すと接続が解除されAndroid Autoが終了します。

Android Autoを利用中は、本機の機能が一部制限されます。Android Autoを利用しないときは、Android Autoを終了してください。

*1… Bluetooth®接続に関する操作についてはP.44～P.47をご覧ください。

Honda Total Care

「Honda CONNECT 搭載車の場合」

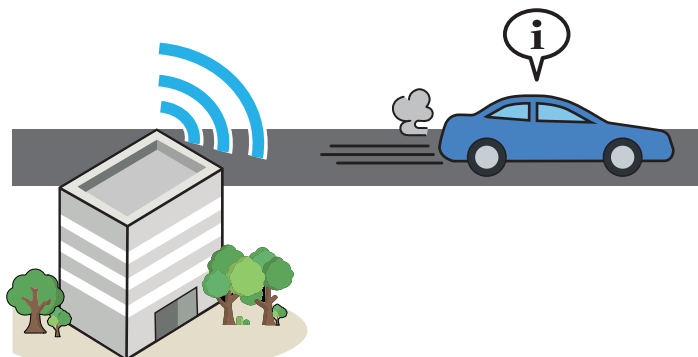
Honda Total Careとは	68
Honda Total Careをご利用になる前に	69
会員サイトとスマートフォンアプリについて	70
緊急時のサポートについて	71
Honda Total Care画面について	72

Honda Total Care とは

Honda Total Care とは

Honda CONNECT を搭載したクルマと緊急サポートセンターやスマートフォンがつながることで、お客様のカーライフがさらに安心・ストレスフリーになるコネクテッドサービスを受けることができます。ご利用になるにはお申込み・ご契約が必要です。Honda Total Care プレミアムの詳しいサービスの内容、およびご契約については Honda Total Care プレミアムのホームページをご覧ください。

URL: <https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/premium/>



Honda Total Careをご利用になる前に

※ Honda Total Careの各種サービスをご利用になるには、会員登録(無料)が必要です。

VX-240ZFE | LX-240ZFE

会員登録の流れ

お客様

Honda Total Careの会員申込
(専用のタブレット端末でのお申し込み、または登録申込書)

Honda 販売店

↓
お客様のお申込み内容に基づき登録

Honda 販売店

↓
「登録完了のご案内」を発行・お渡し

Honda 販売店

↓
本機のセットアップ

↓
サービスをご利用いただけます。

会員登録(無料)の手続きについて

会員登録はHonda 販売店(Honda Cars 店、ホンダカーズ・ユーセレクト(U-Select)店)で承ります。登録後、必ず、販売店にて発行される「登録完了のご案内」をお受け取りください。

お知らせ

- 中古などで本製品を入手された方も、最寄りのHonda 販売店(Honda Cars 店、ホンダカーズ・ユーセレクト(U-Select)店)で会員登録手続きを承ります。Honda Total Careの基本会員の入会金、会費などは不要です。
- Honda Total Careのサービスを受けるには、お客さまの個人情報の登録が必要となります。そのため、本製品を譲渡する場合は、個人情報を消去する必要があります。個人情報の消去は、Honda 販売店へご依頼ください。

データ通信について

本機でHonda Total Careのサービスを利用するには、インターネット情報センターへデータ通信を行う必要があります。

データ通信は、車両によりテレマティクスコントロールユニットを利用して行います。

テレマティクスコントロールユニット

Honda CONNECT 搭載車では、本機でHonda Total CareおよびHonda Total Care プレミアムのサービスを利用するにあたり、テレマティクスコントロールユニット(TCU)に接続してデータ通信を行います。

会員サイトとスマートフォンアプリについて

燃費履歴やメンテナンス時期などの情報サービスを無料で利用できます。

お知らせ

- インターネットに接続できる環境が必要です。
- 利用時の通信費はお客様のご負担となります。
- ホームページの内容は予告なく変更されることがあります。

Honda Total Care会員サイト(PC)

Honda Total Careのホームページからログインすることで利用できます。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

スマートフォンアプリ

2つのアプリから利用できます。



Honda Total Care会員サイト(アプリ)

給油記録や燃費履歴、車の消耗品の交換時期などを確認することができます。



internavi POCKET (一部有料)

出発推奨時刻や到着予想時刻などドライブ前のルートを確認できるナビアプリケーションです。

詳しくは、Honda Total Careのホームページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

初めてログインする場合は、「初めてのログイン」をタッチし、ログインIDとパスワードの設定を行ってください。

「ログインID」は「メールアドレス」、「パスワード」は「任意のパスワード」となっております。

仮登録後、ログインIDとして設定したメールアドレス宛に「ログインID本登録用URL」が届きますので、案内に従い、本登録を進めてください。

詳しくは、Honda Total Care ホームページ内「初回ログイン方法はこちら」をご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

緊急時のサポートについて

緊急サポートセンター

事故や故障などのトラブル時は、Honda Total Care緊急サポートセンターへご連絡ください。詳しくは、HondaTotalCareのホームページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

Honda JAFロードサービスについて

Honda JAFロードサービスにご加入いただくと、会員本人だけでなく契約車両であればご本人でも、Honda JAFロードサービスならではの手厚いサービスをお受けいただけます。詳しくは、Honda Total Careのホームページをご覧ください。

<https://www.honda.co.jp/hondatotalcare/>

Honda Total Care画面について

メッセージを確認する

- 1 **HOME** を押して、**Honda Total Care
メッセージセンター** をタッチする。
Honda Total Care画面を表示します。



- 2 確認したい“リスト”をタッチする。



このカテゴリで未読メッセージがあることを示しています

このカテゴリで未読メッセージがないことを示しています

タッチすると、未読メッセージのみ表示されます

未読メッセージの残存件数を示しています

お知らせの内容を表示します。

お知らせ

[未読のみ表示]にタッチすると未読メッセージをリストの先頭に並べます。

その他の機能と設定

設定画面について	74
音量設定画面について	74
用品取扱説明書用品使い方サポート画面について ..	75
その他設定をする	75
時刻設定画面	75
データを初期化(消去)する	76
画質調整	76
画面を消す	77
リアカメラ設定をする	77
オーディオリモートコントロールスイッチを使う ..	78
オーディオリモートコントロールスイッチの操作 ..	78
リアカメラについて	80
カメラのガイドライン表示について	80
リアカメラを使う	81
リアカメラの映像を表示する	82
リアカメラのビューを切り替える	82
ガイドラインの表示を切り替える	82
画質調整をする	83
リアカメラの次回表示ビューを設定する	84
リアカメラ de あんしんプラス4を使う	85
後方死角サポート	86
バーチャルビュー	86
後方車両お知らせ機能	86
後退駐車サポート	87
後方死角サポート/ 後方車両お知らせ機能のアイコンについて	88
リアカメラの設定	89
リアカメラの次回表示ビューを設定する	90

設定画面について

1

HOME → 設定／情報 をタッチする。



音量設定画面について

1

HOME → 設定／情報 → 音量&操作音 をタッチする。

2

− / + … 音量を調整します。

お知らせ

- 走行中は調整できる項目が限られます。
- 着信音量／受話音量／送話音量／Apple CarPlay／Android Auto 音声案内音量／AIアシスタント音量を調整します。

音量を調整します。

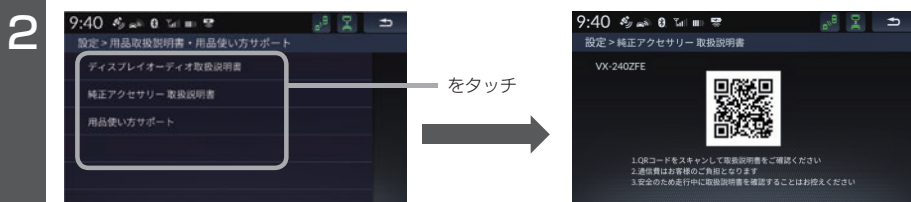


設定項目

操作音の出力	操作音の出力ON/OFFを設定できます。 操作音の出力の設定が ON になっている場合、コントロールパネルのスイッチを押したり、タッチパネルのボタンをタッチしたりしたときに操作音が鳴ります。設定が OFF になっている場合、操作音が鳴りません。
電話着信音量	着信時の呼び出し音の音量を − / + で設定できます。
電話受話音量	通話中の相手の声の音量を − / + で設定できます。
電話送話音量	相手に伝わる自分の声の音量を − / + で設定できます。
Apple CarPlay / Android Auto 音声案内音量	Apple CarPlay / Android Auto ルート案内時の音量を − / + で設定できます。
AIアシスタント音量	Apple CarPlay / Android Auto 使用時のAIアシスタントの音声対話音量を調整します。

用品取扱説明書・用品使い方サポート画面について

1 [HOME] を押して、**設定／情報** → **用品取扱説明書・用品使い方サポート** をタッチする。



お知らせ

- QRコード画面に入ると明るさが変わることがあります。

その他設定をする

1 [HOME] → **設定／情報** → **その他** をタッチする。



時刻設定画面

1 **時刻設定** をタッチする。

2 画面上の時刻表示が **ON** になっている場合、画面の右上に時刻を表示します。OFF になっている場合、時刻を表示しません。

時刻表示方法の **12H** / **24H** をタッチすると、12時間制と24時間制の間で切り替えることができます。



お知らせ

- GPSアンテナを接続している場合、GPSアンテナから時刻が自動設定されます。
- 時の設定範囲は、12時間制の場合、AM1～12またはPM1～12になり、24時間制の場合、0～23になります。分の設定範囲は、0～59になります。

データを初期化(消去)する

1

HOME → 設定/情報 → 出荷状態に戻す を
タッチする。

はい をタッチすると初期化が完了します。



初期化中は他の操作(ソースを切り替えたり車のエンジンスイッチを変更したりなど)をしないでください。

他の操作をすると故障の原因となります。

初期化すると、選択した項目は消去され、もとに戻せません。

画質調整

※ 画質調整への遷移方法について、[P.77](#)をご覧ください。

※ メニュー画面やナビ画面などの明るさ、コントラストなどを調整します。

設定名	設定内容
明るさ	明るさの調整を行います。 + をタッチすると明るくなり、 - をタッチすると、暗くなります。ロングタッチ(P.17)すると、連続で調整できます。
コントラスト	コントラスト(メリハリ)の調整を行います。 + をタッチするとコントラストが強くなり、 - をタッチすると、弱くなります。ロングタッチ(P.17)すると、連続で調整できます。
初期化	調整した画質を工場出荷時の状態に戻します。
昼夜切換	タッチするたびに画面の明るさを昼用/夜用に切り換えます。
画面消	画面を消します。
黒の濃さ	黒の濃さの調整を行います。 + をタッチすると黒の濃さが弱くなり、 - をタッチすると濃くなります。ロングタッチ(P.17)すると、連続で調整できます。
色の濃さ	色の濃さの調整を行います。 + にタッチすると色が濃くなり、 - をタッチすると薄くなります。ロングタッチ(P.17)すると、連続で調整できます。
色合い	色合いの調整を行います。 + をタッチすると緑っぽくなり、 - をタッチすると赤っぽくなります。ロングタッチ(P.17)すると、連続で調整できます。
OK	調整を完了し、1つ前の画面に戻ります。

お知らせ

画面や機能によって、画質調整可能な項目が異なる場合があります。

画面を消す

画面を消して黒画面にすることができます。(音声はそのまま聴くことができます。)

1  を長押しして、画質調整画面を表示する。



2 **画面消す** をタッチして画面を消す。



お知らせ

カメラ映像を表示する操作をしたり、カメラ映像の自動表示が作動した場合は、画面消し(黒画面)中でも、カメラ映像に自動的に切り替わります。

※ カメラ映像が終了すると、画面消し状態(黒画面)に戻ります。

リアカメラ設定をする

1 **HOME** → **設定/情報** → **リアカメラ設定** をタッチする。



お知らせ

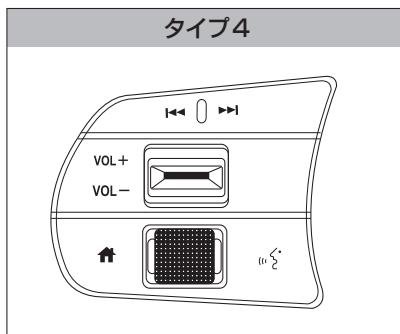
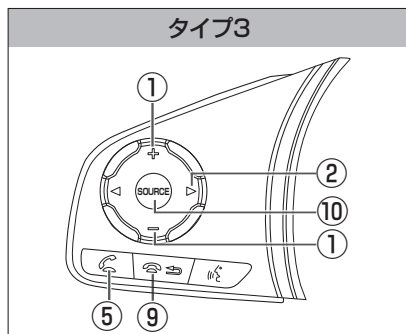
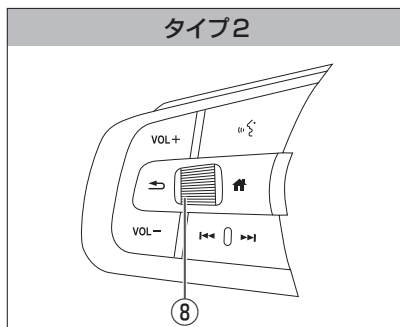
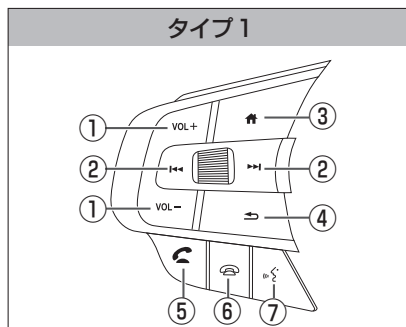
リアカメラ次回表示ビューを設定できます。

オーディオリモートコントロールスイッチを使う

ステアリングホイールに付いているスイッチで、オーディオ / ビジュアルの基本的な操作を行うことができます。

オーディオリモートコントロールスイッチの操作

イラストはイメージ図です。



※ 車両によってはデザイン、ボタンの個数が異なる場合があります。

※ 走行中運転の妨げにならないように十分に注意してください。

① VOL+ / VOL- / + / - (音量)ボタン

オーディオ音量 / ハンズフリー着信・受話音量 / 音声案内音量を調整します。

VOL+ / **+** ボタンを押すと、音量が大きくなります。



VOL- / **-** ボタンを押すと、音量が小さくなります。



※ それぞれの音声の出力中に、調整できます。



オーディオリモートコントロールスイッチを使う



② / / (チャンネル) ボタン

• FW/AM





 /  ボタンを押すと、プリセットされている前の放送局を選曲します。

 /  ボタンを押すと、プリセットされている次の放送局を選曲します。



 /  ボタンを長押しすると、シークアップします。



 /  ボタンを長押しすると、シークダウンします。

• iPod、USBメモリー、Bluetoothオーディオ再生時


 /  ボタンを押すと、ファイルを最初から再生します。もう一度  /  ボタンを押すと、前のファイルに戻ります。

 /  ボタンを押すと、次のファイルにスキップします。


 /  ボタンを長押しすると、早戻しします。

 /  ボタンを長押しすると、早送りします。

③ ボタン


メーターのホームボタンです。 ボタンを押すと、マルチインフォメーション画面のホーム画面に戻ります。

④ ボタン

メーターの「戻る」ボタンです。 ボタンを押すと、マルチインフォメーション画面の前の画面に戻る、またはコマンドがキャンセルされます。

⑤ ボタン

ハンズフリーの電話機能で以下の動作を行います。

- ワンタッチダイヤル( P.55)で電話発信します。
- 長押しするとリダイヤルします。
- 着信中のとき電話に出ます。

⑥ ボタン

電話機能のハングアップボタンです。押すと、通話中の電話を切断したり、着信中の電話を拒否したりします。

⑦ ボタン


発話ボタンです。Apple CarPlayまたはAndroid Auto使用中、このボタンを押すと、SiriまたはGoogle Assistantを呼び出します。

⑧ / レフトセレクターホイール

車両側のマルチインフォメーションディスプレイを操作して、再生ソース選択/ハンズフリー操作を行うことができます。

レフトセレクターホイールを回すと車両側のマルチインフォメーションディスプレイの表示が切り替わります。レフトセレクターホイールを押して決定してください。

⑧ ボタン

電話機能のハングアップボタンです。押すと、通話中の電話を切断したり、着信中の電話を拒否したりします。通話中や着信中ではない場合、 ボタンを押すと、マルチインフォメーション画面の前の画面に戻る、またはコマンドがキャンセルされます。

⑩ ボタン

Source ボタン。オーディオソースを切り替えます。

リアカメラについて


警告

カメラの映像は、注意義務を免除または軽減するものではありません。

カメラが装着されていない場合と同様に周囲の安全を自分の目で確認しながら運転してください。

- カメラが映し出す範囲には限界があります。ガイドラインは車幅や距離間隔を補うための目安です。実際の周りの状態を直接目で確認してご使用ください。
- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と間隔が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。(車両のバックミラーやサイドミラーで見たときと同じ左右を反転した映像です。)
- 夜間または暗所などの状態により、カメラの映像が見えない(見えにくい)ことや画質が低下する場合があります。
- 雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる場合があります。
- 詳しくはリアカメラの取扱説明書または車両の取扱説明書をご覧ください。

カメラのガイドライン表示について

- 必要なガイドラインはHonda販売店で設定されます。設定の変更などについては、Honda販売店にご相談ください。
- ガイドライン( P.82)の距離は、車種によって異なります。
- ガイドラインは、実際の車幅、距離間隔と異なる場合があります。
- 次のようなときは、ガイドラインと実際の路面上の距離、障害物との距離に誤差が生じます。
 - ・ 勾配の急な坂道などが後方にあり、路面に対して車両が傾いているとき
 - ・ 搭乗人数や積載量などにより、車両が傾いているとき
- ガイドラインは路面上の距離を示す目安となりますので、画面に立体物が映し出された場合は実際の距離感とは異なります。

リアカメラを使う

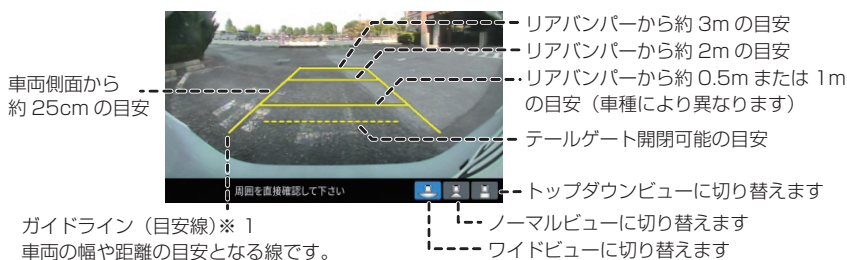
標準装備または別売のリアカメラが接続されている場合、ディスプレイにリアカメラ映像を表示できます。

お知らせ

- ビュー切り替えは、リアワイドカメラを接続している場合に可能です。
- ダイナミックガイドライン表示は、車両の装備やグレードが対応している必要があります。
- リアカメラについて詳しくは、標準装備または別売のリアカメラの取扱説明書をご覧ください。
- 福祉車両のガイドラインについては福祉車両純正アクセサリーのホームページをご参照ください。

表示内容について

ノーマルビューおよびワイドビューの場合

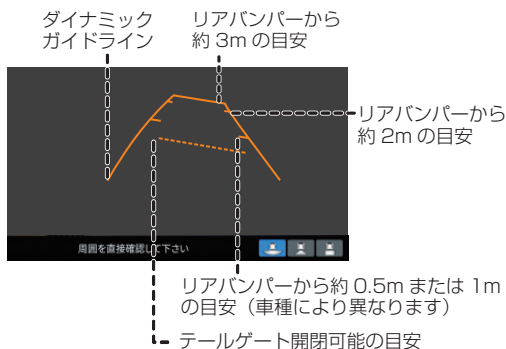


トップダウンビューの場合

リアバンパーから約 0.5m または 1m の目安 (車種により異なります)



ノーマルビュー+ ダイナミックガイドラインの場合



ハンドルを大きく切ったときに、ガイドライン表示がダイナミックガイドラインに切り替わります。ダイナミックガイドラインは、今のハンドル位置のまま後退した場合の予測進路を示します。ハンドルの角度に連動してガイドラインが変形します。

お知らせ

ガイドラインは表示する / 表示しないを設定できます。

→「ガイドラインの表示を切り替える」(P.82)

※ 1… ガイドラインは説明のイメージです。車種によって異なります。

リアカメラを使う

リアカメラの映像を表示する

- 1 車のセレクトレバーをリバースに入れる。
カメラ映像に切り替わります。リバース以外に入れると、元の画面に戻ります。

お知らせ

- リアワイドカメラを接続している場合、カメラ映像に切り替えたとき、どのビューで表示するかを設定できます。→「リアカメラの次回表示ビューを設定する」(P.85)
- 前回のリアカメラ映像(ラスト画面)がトップダウンビューの場合、設定したビューで表示します。ただし、車両の切り返しなど本機の電源を切らずに、かつ10km/hを超えた走行をしていない場合は、設定したビューに切り替わりません。

リアカメラのビューを切り替える

リアワイドカメラを接続している場合に、ワイドビュー、ノーマルビュー、トップダウンビューを切り替えることができます。

- 1 切り替えたい“ビュー”をタッチする。
選んだビューに切り替わります。



カメラ映像画面
をタッチする



ガイドラインの表示を切り替える

リアカメラにガイドライン表示する/しないを設定できます。

- 1 **ガイドライン表示設定** をタッチする。
選んだビューに切り替わります。



リアカメラを使う

2 「ガイドライン表示」または「ダイナミックガイドライン」の **ON** / **OFF** をタッチする。

タッチするたびに[する]/[しない]が切り替わります。

3 **OK** をタッチする。

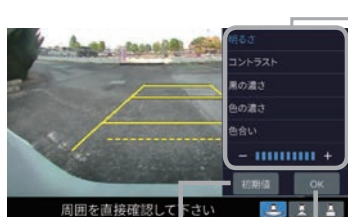
画質調整をする

1 **画質調整** をタッチする。

※調整する画面によっては、**画質調整** のタッチは不要です。

2 調整項目を選んでタッチする。

※調整する画面によっては、調整項目が **明るさ** / **コントラスト** のみになります。



お買い上げ時の調整に戻します。

OK

明るさ/コントラスト/色の濃さ/色合いを調整する

① **明るさ** / **コントラスト** / **黒の濃さ** / **色の濃さ** / **色合い** から選んでタッチする。

② **-** / **+** をタッチして調整する。

明るさ	-	:暗くなる	/	+	:明るくなる
コントラスト	-	:弱くなる	/	+	:強くなる
黒の濃さ	-		/	+	
色の濃さ	-	:淡くなる	/	+	:濃くなる
色合い	-	:赤色を強く	/	+	:緑色を強く

お知らせ

- 画質調整機能、5種類の調整があり、範囲は0~10で、+記号をタッチして増加させ、記号をタッチして減少させます。
- 初期値をクリックしてデフォルト設定を復元し、調整の最後に[OK]をタッチして、調整インターフェイスを終了します。

リアカメラを使う

リアカメラの次回表示ビューを設定する

お知らせ

前回のリアカメラ映像(ラスト画面)がトップダウンビューの場合に設定したビューで表示します。ただし、車両の切り返しなど本機の電源を切らずに、かつ10km/hを超えた走行をしていない場合は、設定したビューに切り替わりません。

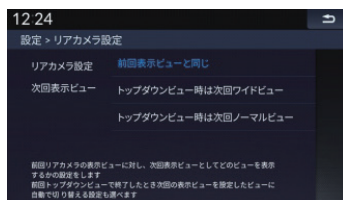
1

HOME を押して、**設定** → **リアカメラ** → **前回ビュー** をタッチする。

2

前回表示したい“ビュー”をタッチする。

前回表示ビューの設定が完了します。



リアカメラ de あんしんプラス 4 を使う

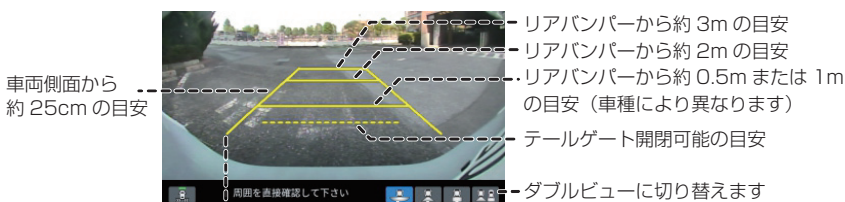
リアカメラ de あんしんプラス 4 に対応したリアカメラと専用ユニットが接続されている場合、下記の機能を利用できます。詳しくは、別売のリアカメラ de あんしんプラス 4 の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- このシステムは、後退時や走行中の後方確認などをサポートするためのものであり、衝突を防止するためのシステムではありません。
- 後退時や走行時は、必ず目視やミラーなどで後方および周囲の安全を直接確認してください。状況によっては、検知できない可能性があるため、ブザーや画面のみを頼って走行すると、思わぬ事故につながるおそれがあります。

表示内容について

ノーマルビューおよびワイドビューの場合



ガイドライン (目安線) ※ 1
車両の幅や距離の目安となる線です。

トップダウンビューの場合

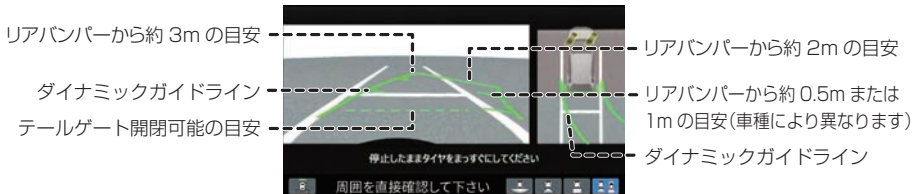


※トップダウンビューの場合はダイナミックガイドライン表示出来ません。

ダイナミックガイドライン



ダブルビューの場合



ハンドルを大きく切ったときに、ガイドライン表示がダイナミックガイドラインに切り替わります。ダイナミックガイドラインは、今のハンドル位置のまま後退した場合の予測進路を示します。ハンドルの角度に連動してガイドラインが変形します。

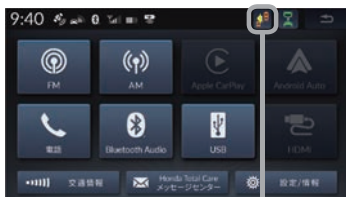
※ 1…ガイドラインは説明のイメージです。車種によって異なります。

リアカメラ de あんしんプラス4 を使う

後方死角サポート

隣接する車線後方の検知エリアに他の車両がいることを検知すると、運転者にお知らせします。走行速度が一定値以下、またはセレクトレバーがリバースの場合は警告しません。

警告レベル低



警告レベル低ではマーク表示で警告します。

- ：左隣の車線で他車が走行中
- ：右隣の車線で他車が走行中
- ：両隣の車線で他車が走行中

警告レベル高



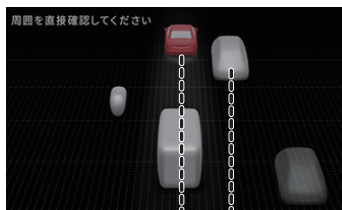
警告レベル高では警告レベル低時にウィンカーを作動させた場合に警報音と画面表示で警告します。

警告レベル高では両隣の車線で他車が走行していても片方のみ警告表示します。

1

バーチャルビュー

- バーチャルビュー以外の画面で表示されるポップアップ表示はバーチャルビュー中は表示しません。
- 後方死角サポート/後方車両お知らせ機能どちらかのアイコンを押下(短押し)して、バーチャルビューに切り替えます。



- ①自車アイコン
- ②対象物アイコン

お知らせ

- バーチャルビュー画面では画質調整ができません。

その他の機能と設定

後方車両お知らせ機能

車両後方の検知エリアに他の車両がいると、運転者にお知らせします。走行速度が一定値以下、またはセレクトレバーがリバースの場合はお知らせしません。



音声とマーク表示で警告します。

リアカメラdeあんしんプラス4を使う

後退駐車サポート

車を後退で駐車するときに、リアカメラの画面をもとに車両後方の駐車枠を検知し、自車と駐車枠のズレ(角度差)の目安をお知らせします。

1 かんたん駐車ガイド

駐車枠を検知すると、駐車をサポートするガイダンスと後退位置予測線を表示します。後退完了位置予測線は、ハンドルの角度に応じて位置が変わります。また、予測線の位置により色が変わります。



後退位置予測線

緑色のときに、ハンドル角度を維持してバックすることで駐車枠のほぼ中央に車両を駐車することができます。

橙色: 予測線の位置が駐車枠の中央から左右にずれている

緑色: 予測線の位置が駐車枠のほぼ中央

メッセージ

メッセージに従いハンドルを操作してください。

2 ダブルビュー合成映像表示

後退駐車時にリアカメラが撮影した過去の車両周辺の様子をダブルビュー画面に表示する機能です。



合成映像表示

※セピア色調の映像で表示

リアカメラのトップダウンビュー
(リアルタイム)

ダブルビュー合成映像表示
のイメージ


※ 過去映像のため、実際の車両の周りの状態と異なる場合があります。

3 設定変更について

後退駐車サポートを使用する/使用しないは「リアカメラの設定」(P.89)を参照してください。

お知らせ



リアカメラが汚れている場合、汚れアイコンが表示されます。汚れているとサポート機能が動作しません。エンジンスイッチをOFFにしてから、水を含ませた柔らかい布などでリアカメラの汚れを拭き取ってください。

 : 汚れアイコン

リアカメラ de あんしんプラス4 を使う

後方死角サポート/後方車両お知らせ機能のアイコンについて

リアカメラの設定(P.89)で設定を[する]にしている場合、各アイコンが表示されます。各アイコンにタッチすると、サポート機能のON/OFFを切り替えることができます。

	後方死角サポート
	後方車両お知らせ機能

ON時：アイコンが緑色、OFF時：アイコンが灰色

※ 緑色のアイコンに斜め線が表示されているときは、ONになっていますが走行速度が一定値以下のため、警告またはお知らせをしない状態であることを示します。

※ アイコンが 、 (橙色)の場合は、故障しています。Honda販売店にご相談ください。

後退出庫サポート

駐車場などから後退で出庫するときのサポート機能です。

リアカメラの映像をもとに車両後方の左右から接近する他の車両や人などを検知し、運転者にお知らせします。

接近物
接近物に枠を表示します。
(ワイドビューの場合のみ)

接近矢印表示
後方に接近物を検知すると
「>>」を表示します。



タッチするたびに後退出庫サポートのON/OFFが切り替わります。

1 後退出庫サポートのアイコンについて

リアカメラの設定(P.89)で、設定を[する]にしている場合、アイコンが表示されます。アイコンにタッチすると、サポート機能のON/OFFを切り替えることができます。


	後退出庫サポート
---	----------

ON時：アイコンが緑色、OFF時：アイコンが灰色

※ アイコンが  (橙色)の場合は、故障しています。Honda販売店にご相談ください。

お知らせ

リアカメラが汚れている場合、汚れアイコンが表示されます。汚れているとサポート機能が動作しません。エンジンスイッチをOFFにしてから、水を含ませた柔らかい布などでリアカメラの汚れを拭き取ってください。

 : 汚れアイコン

リアカメラ de あんしんプラス4 を使う

リアカメラの設定

リアカメラの種類によって、設定項目が変わります。



設定名	設定値	設定内容
バーチャルビュー設定	ダーク	お客さまの好みに合わせて3つの画面スタイルを変更できます。
	クール	
	ブライツ	
リアカメラ設定 次回表示ビュー設定	前回ビュー	--
ダブルビュー合成映像表示	ON	ダブルビュー時に過去映像の表示ON/OFFを選択できます。
	OFF	
後方死角サポート設定	ON	後方死角サポート機能のON/OFFを選択できます。
	OFF	
後退出庫サポート設定	ON	後退出庫サポート機能のON/OFFを選択できます。
	OFF	
後退出庫サポート警報頻度	高い	後退出庫サポート警報頻度を高い/中間/低いから選択出来ます。
	中間	
	低い	
後方車両お知らせ設定	ON	後方車両お知らせ機能のON/OFFを選択できます。
	OFF	
後方車両お知らせ開始速度	60km/h	後方車両お知らせ機能の開始速度を選択できます。
	80km/h	
	100km/h	
	120km/h	
後方車両お知らせ検知範囲	狭い	後方車両お知らせ機能の検知範囲を選択できます。
	標準	
	広い	

リアカメラ de あんしんプラス4 を使う

設定名	設定値	設定内容
運転支援警報音設定	大	後方死角サポート、後退出庫サポートの警報音の音量を選択できます。
	中	
	小	
	消(表示のみ)	
運転支援お知らせ音声設定	大	後方車両お知らせの音量を選択できます。
	中	
	小	
	消(表示のみ)	

リアカメラの次回表示ビューを設定する

お知らせ

前回のリアカメラ映像(ラスト画面)がトップダウンビューの場合に設定したビューで表示します。ただし、車両の切り返しなど本機の電源を切らずに、かつ10km/hを超えた走行をしていない場合は、設定したビューに切り替わりません。

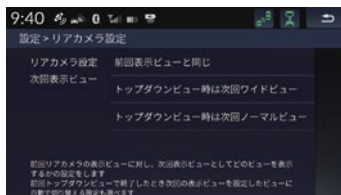
1

[HOME] を押して、**設定** → **リアカメラ** → **前回ビュー** をタッチする。

2

前回表示したい“ビュー”をタッチする。

前回表示ビューの設定が完了します。



困ったとき

故障かな?と思ったら92

故障かな？と思ったら

ちょっとした操作のミスや接続のミスで故障と間違えることがあります。

修理を依頼される前に、下記のようなチェックをしてください。それでもなお異常があるときは、使用を中止してお買い上げのHonda販売店にご連絡ください。

本体関係

共通

症状	考えられる原因	処置
電源が入らない (動作しない)	<ul style="list-style-type: none"> 各リード線や各コネクタが正しく接続されていない。 電源コネクタのヒューズが切れている。 	Honda販売店にご相談ください。
音が出ない	音量が小さい、または“0”になっている。	VOL+ /- で調整してください。
	バランス/フェーダーが片方に寄っている。	バランス/フェーダーを正しく調整してください。 サウンド設定画面について (P.74) ※ 2スピーカーの場合は“5”に合わせます。
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので離してご使用ください。
	Honda Total Care 緊急サポート機能利用中。	緊急サポート機能利用後、60分経過すると音声出力が可能になります。
本機に登録した情報が消失している	<ul style="list-style-type: none"> 本機の使用を誤った。 ノイズの影響を受けた。 修理を依頼した。 などにより本機に登録した情報が消失する場合があります。	消失したデータについては補償できません。
映像が出ない	走行している。	AVソースの映像は走行中に見ることができません。
	明るさ/コントラスト調整が最も暗い調整になっている。	明るさ/コントラストを調整してください。 画質を調整する (P.76)
	画面が消えている。	画面をタッチして、画面を表示してください。
表示が暗く見づらい	<ul style="list-style-type: none"> 車両側のオートライトにより、ライトが点灯している。 ライトをONにした。 	画面の明るさはイルミネーションに連動します。 (トンネル内など画面が急に暗くなります。) 手動で昼間/夜間モード切り替えることが可能です。
ディスプレイに光る点がある	液晶パネルは99.99%以上の有効画素があるが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがある。	故障ではありません。




故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	処置
映像に斑点や縞模様が出る	ネオンサイン、高圧線、アマチュア無線、他の自動車などの影響で起きることがある。	妨害電波を受けない場所に移動してください。
動画ファイルを再生できない	USB MOVIE を選んでいない。	USB MOVIE に切替えてください。 USBメモリーの動画を見る (P.33)
	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMPEG4/H.264ファイルにしてください。動画ファイルについて (P.114)
動画ファイルを再生中に映像が止まったり、モザイクがでたり、次のファイルに移ったりする	対応していないファイル形式で記録されている。	対応しているファイル形式で記録されたMPEG4/H.264ファイルにしてください。動画ファイルについて (P.114)
JPEG/PNG/BMPファイルを再生できない	対応していないファイル形式で記録されている。	対応したファイル形式で記録されたJPEG/PNG/BMPファイルにしてください。 画像ファイルについて (P.112)
	USB PICTURE を選んでいない。	USB PICTURE に切り替えてください。 USBメモリーの画像を見る (P.31)
画像リストで選んだものと異なった画像が表示される	ファイルに登録されているサムネイル画像が実際の画像と異なっている。	画像編集ソフトによっては実際の画像と異なったサムネイル画像が登録される場合があります。
再生できない	本機で再生できないUSBメモリーを使用している。	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能なUSBメモリーを使用してください。 USBメモリーについて (P.105) 対応しているファイル形式で記録されたファイルにしてください。 音楽ファイルについて (P.111)
ジャケット写真が表示できない	MP3/AAC/WMA/FLACファイルにジャケット写真が登録されていない。	<ul style="list-style-type: none"> iTunes、Windows Media Playerなどのアプリケーションを使用して、パソコンでジャケット写真を登録してください。 アプリケーションが自動で取得したジャケット写真(アートワーク)は音楽ファイルに自動で付加されない場合があります。そのような場合は、手でジャケット写真を登録してください。
	登録する画像が対応していないファイル形式で記録されている。	JPEG/PNG/BMPファイルを使用してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	処置
ジャケット写真が表示できない	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	ジャケット写真の画像サイズが大きいと表示できない場合があります。小さい画像サイズのジャケット写真を登録してください。
	1つの音楽ファイルに複数のジャケット写真が登録されている。	1つの音楽ファイルには、1つの画像のみ登録してください。

USB

症状	考えられる原因	処置
USBアイコンがグレーアウト状態	USBメモリー未接続である。	USBメモリーを接続してください。 USBメモリーを本機に接続する ( P.25)
	USBメモリーのフォーマットが非対応。	対応しているフォーマットのUSBメモリーをご使用ください。
アルバム/アーティスト/ジャンルの選曲ができない	MP3/AAC/WMA/FLACファイルにタグ情報が入っていない。	パソコンでMP3/AAC/WMA/FLACファイルのタグ情報を編集してください。
選曲時に空のリストが表示される	タグ情報が正しく入っていない。タグ情報にスペースなどの文字が入っている。	パソコンでMP3/AAC/WMA/FLACファイルのタグ情報を編集してください。
MP3/AAC/WMA/FLACファイルを再生できない	対応していないファイル形式で記録されている。	本機で対応しているファイル形式で記録されたMP3/AAC/WMA/FLACファイルにしてください。 音楽ファイルについて( P.111)
	USB MUSIC を選んでいない。	USB MUSIC に切り替えてください。 USBメモリーの音楽を聴く( P.29)
	AACファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データが混在しているUSBメモリーを再生しようとした。	AACファイルに画像データ(iTunesのアートワークを除く)、映像データ、その他音楽データでないものが含まれる場合、AACファイルは再生できません。
	<ul style="list-style-type: none"> 著作権保護された音楽データで記録されている。 SD-Audioで録音された音楽を再生しようとした。 	著作権保護された音楽ファイル(SD-Audio規格など)は再生できません。対応しているファイル形式で記録されたMP3/AAC/WMA/FLACファイルを再生してください。

故障かな？と思ったら

症状	考えられる原因	処置
再生が始まるまでに時間がかかる	USBメモリーに記録されているフォルダ、ファイル階層が多い。	ファイルのチェックに時間がかかる場合があります。MP3/AAC/WMA/FLAC以外のデータや不要なフォルダは書き込まないようにしてください。
	動画ファイルのサイズが大きすぎる。	ファイルサイズが大きいと、再生までに時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。
再生中に大きな雑音が出たり、音が出なかったり、すぐ次の曲に移ったりする。	ファイルの形式と拡張子が合っていない。	ファイルの形式と拡張子が合っていないファイルは再生しないでください。
USBメモリーを認識していない	USBメモリーが本機に対応していない。	本機に対応しているUSBメモリーを確認してください。 USBメモリーについて(☞P.105)
	USBメモリーを正しく接続していない。	正しく接続してください。 USBメモリーを本機に接続する(☞P.25)
ジャケット写真が小さく表示される	登録に使用する画像の解像度が小さい。	128×128ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像サイズをおすすめします。
MP3/AAC/WMA/FLAC再生時にエラーメッセージが表示される	Macで作成したファイルをUSBメモリーで再生している。	使用するUSBメモリーから隠しファイルを削除してください。(Macで作成すると、作成したファイルと一緒に隠しファイルが作成されます。)
音楽ファイル再生中に音飛びが発生する	登録されているジャケット写真の画像サイズが大きい。	1024×1024ピクセル以下の画像サイズのジャケット写真を登録してください。
ファイル再生が記録した順と異なる	USBメモリー書き込み時(コピー時)にパソコンがフォルダ位置、ファイル位置を並べ替える可能性がある。	書き込む際、パソコン上で期待する順に並んでいるのを確認し、フォルダごとまとめて書き込む(コピーする)ことで並び順を正しく表示できる場合があります。
動画ファイル再生中に編製のノイズ(コミングノイズ)が発生する	もとがインターレースの映像を使用し、動画ファイルを作成した。	動画ファイル作成時に、動画作成ソフトでフィルタなど(デインターレース)をかけてノイズを除去してください。
動画ファイル再生中に音飛び、コマ落ち、スキップが発生する	対応していないファイル形式の動画ファイルを再生している。	対応しているファイル形式で動画ファイルを作成してください。 動画ファイルについて(☞P.114)
	ビットレートが高すぎる。	動画ファイル作成時に、ビットレートを低く設定することで、音飛びやコマ落ち、スキップを抑えられる場合があります。 動画ファイルについて(☞P.114)

故障かな？と思ったら



iPod

症状	考えられる原因	処置
正常に動作しない	正しく接続していない。	本機とiPodの接続を確認してください。 iPodが正常に動作しない場合はiPodをリセットしてください。(リセットの方法はApple社にお問い合わせください。) iPodを接続する(📖 P.25)
	iPodのソフトウェアバージョンが古い。	本機で対応しているバージョンにしてください。 本機で接続確認済みのiPod(📖 P.25)
	突然、iPodと通信ができなくなった。	iPodを再起動してください。
	Apple CarPlayを起動している。	Apple CarPlayを終了し、“iPhone接続時の利用機能”を <i>iPod</i> に設定したあと、iPhoneを接続し直してください。 iPodを接続する(📖 P.25)




FM/AM

症状	考えられる原因	処置
ラジオの自動選局ができない	強い電波の放送局が無い。	手動で選局してください。 選局する(📖 P.23)
<ul style="list-style-type: none"> • ラジオが受信できない • ラジオの入りが悪い 	エアコンやワイパー動作に連動したノイズが発生している。	車両側の電装品の動作を止めてください。 電装品が動くとノイズが入る場合があります。
	本機の近くに携帯電話や無線機を置いている。	妨害を受ける可能性がありますので、なるべく本機から離してご使用ください。また、使用しない場合は携帯電話や無線機の電源を切ってください。
	周波数再編が実施された。	新しい周波数をプリセットのリストに記憶させてください。 ユーザープリセットリストに放送局を登録する(📖 P.22)



故障かな？と思ったら

Bluetooth® Audio		
症状	考えられる原因	処置
Bluetooth® 対応オーディオ機器を登録できない	Apple CarPlay 対応の iPhone または Android Auto 対応のスマートフォンが USB 接続ケーブルに接続されている。	Apple CarPlay 対応の iPhone または Android Auto 対応のスマートフォンを外してください。
Bluetooth® Audio が使用できない		
Bluetooth® 対応オーディオ機器を接続できない	本機との接続情報が消えている。	一度登録を消去し、登録・割り当てをし直してください。 Bluetooth® 対応機器の Bluetooth® 接続をする (P.45)
	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth® 対応オーディオ機器の設定が、Bluetooth® 接続待ちの状態になっていない。 本機から接続を受け付けない。 特定の状態 (例: 携帯電話での音楽プレイヤーの起動中) でしか接続できない。 	Bluetooth® 対応オーディオ機器の取扱説明書をご確認ください。
	“Bluetooth®” が  (OFF) になっている。	 (ON) にしてください。 本機の Bluetooth® 機能を ON/OFF する (P.47)
Bluetooth® 対応オーディオ機器を接続できない	Apple CarPlay 対応の iPhone または Android Auto 対応のスマートフォンが USB 接続ケーブルに接続されている。	Apple CarPlay 対応の iPhone または Android Auto 対応のスマートフォンを外してください。
ジャケット写真が表示できない	接続デバイスによって、Bluetooth® Audio ではジャケット写真が表示しない場合があります。	
音楽が流れない	Bluetooth® Audio の音声転送プロファイルである、A2DP が接続されていない。	<ul style="list-style-type: none"> Bluetooth® 対応オーディオ機器が A2DP に対応しているかを確認してください。対応しているにもかかわらず音楽が流れない場合は、一度登録を消去し、登録・割り当てをし直してください。Bluetooth® 対応機器の Bluetooth® 接続をする (P.45) Bluetooth® 対応オーディオ機器によっては、A2DP に対応していても音楽が流れない場合があります。
<ul style="list-style-type: none"> 音が飛ぶ 操作がおくれる 再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる 	Bluetooth® 対応オーディオ機器が本機から離れすぎている。	Bluetooth® 対応オーディオ機器を本機に近づけてください。
	ハンズフリーフォンなどを行っている。	故障ではありません。通信量が増加するため一時的に症状が発生することがあります。

故障かな？と思ったら


症状	考えられる原因	処置
リストが操作できない	接続機器がリスト表示機能に対応していない。	AVRCP1.6に対応した機器を使用してください。 ※ Bluetooth®対応オーディオ機器によってはAVRCP1.6に対応していても、リスト表示ができない場合があります。
携帯電話と接続できない	Bluetooth®携帯電話と通信できない状態になっている。	携帯電話の電源を入れ直す、または本機の電源を入れ直してください。
	Bluetooth®対応の携帯電話を使用していない。	Bluetooth®対応の携帯電話を使用してください。
	Bluetooth®対応オーディオ機器を接続している。	登録しているBluetooth®対応オーディオ機器を消去してください。(機器によっては、通信量が増加するため他のBluetooth®機能を制限してしまう場合があります。)
	他のBluetooth®機能が動作中になっている。	他のBluetooth®機器の動作が終わってから接続をしてください。
	Bluetooth®が  (OFF) になっている。	 (ON) にしてください。 本機のBluetooth®機能をON/OFFする ( P.47)

リアカメラ

症状	考えられる原因	処置
映像が出ない	シフトレバーがリバースの位置になっていない。	シフトレバーがリバースの位置になっているか確認してください。
映像の映りが悪い	カメラのレンズが汚れている。	水を含ませた柔らかい布等で軽く拭いてください。
	太陽光や後続車のヘッドライトの光が直接カメラレンズ面に当たっている。	レンズ面に当たっている光が消えれば元に戻ります。
映像が暗い	画面の明るさ等が正しく調整されていない。	画面の明るさ等の調整を行ってください。 画質を調整する ( P.76)
ガイドラインが表示されない	ガイドラインが非表示になっている。	ガイドラインを表示してください。 ガイドラインの表示/非表示を切り替える ( P.82)

故障かな？と思ったら

ハンズフリーフォン

症状	考えられる原因	処置
ビルの谷間などで音声が入る	電波がビルなどにより乱反射したり電波がさざぎられたりしている。	妨害電波を受けない場所に移動してください。
鉄道の高架下や高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで雑音が入る	それぞれが出す雑音電波が電波に混入した。	妨害電波を受けない場所に移動してください。
AVの音声にブーンというノイズが入る	携帯電話からの電波が混入した。	妨害電波を受けない場所に移動してください。
発信できない	電波が届きにくい場所にいる。	携帯電話の電波状況がよい場所に移動してください。
着信音 / 相手の声が聞こえない	音量が最小になっている。	着信音量、受話音量を調整してください。 ハンズフリーフォンの通話設定をする ( P.50)
	携帯電話が本機より離れすぎている。	<ul style="list-style-type: none"> 携帯電話を本機に近づけてください。 携帯電話の電波状態を確認してください。
	携帯電話によって、着信音が鳴らない場合があります。	
通話後、Bluetooth® Audioの音声が入らない	ハンズフリーフォンで通話しているときにBluetooth® Audioの再生が止まる場合があります。	通話終了後、Bluetooth® Audioを再度、再生してください。
着信時に応答できない	携帯電話側が応答保留に対応していない。	携帯電話側が応答保留に対応している必要があります。
携帯電話を登録できない	Apple CarPlay対応のiPhoneまたはAndroid Auto対応のスマートフォンがUSB接続ケーブルに接続されている。	Apple CarPlay対応のiPhoneまたはAndroid Auto対応のスマートフォンを外してください。
ハンズフリーフォンが使用できない		

故障かな？と思ったら

リアカメラ de あんしんプラス 4

症状	考えられる原因	処置
汚れ検出機能動作中 リアカメラ de あんしん プラスが使用でき ません。	<ul style="list-style-type: none">• 後方死角サポート• 後方車両お知らせ のいずれかで汚れを検出した場合	Honda 販売店にご相談ください。
カメラエーミングを 実施してください。	リアカメラ de あんしんプラス 4 のエー ミングが未実施の場合	Honda 販売店にご相談ください。

Apple CarPlay

症状	考えられる原因	処置
Apple CarPlay との 接続ができない	iPhone 側で Apple CarPlay が異常終了 した。	iPhone を USB 接続ケーブルから取り外 し、iPhone の電源を入れ直してから、再 度接続してください。
Apple CarPlay が起 動しない	接続する端末が Apple CarPlay に対応し ていない。	接続する端末が Apple CarPlay に対応し ているか確認して下さい。
	接続する対応端末の Apple CarPlay 接続 設定が無効になっている。	接続する対応端末の Apple CarPlay 接続 設定を有効にしてください。
	充電にのみ対応したケーブルで接続して いる。	純正 Apple Lightning-USB ケーブルを使 用してください。

故障かな？と思ったら

Android Auto

症状	考えられる原因	処置
Android Autoとの接続ができない	スマートフォン側でAndroid Autoアプリが異常終了した。 使用中にスマートフォンの電源を切った。	スマートフォンをUSB接続ケーブルから取り外し、スマートフォンの電源を入れ直してから、再度接続してください。
	AndroidスマートフォンのUSB接続モードが、USBメモリとして認識されるモード(例：「外部メモリ」など)に設定されていない。	Androidスマートフォンを操作して、USB接続モードの設定を確認してください。 ※名称や設定のしかたは機器によって異なりますので、Androidスマートフォンの取扱説明書をご覧ください。もしくは、スマートフォンメーカーにお問い合わせください。
Android Autoで電話中に相手の音声が聞こえない、相手に声が伝わらない	Bluetooth®接続ができていない。	Bluetooth®接続を確認してください。 Bluetooth®対応機器のBluetooth®接続をする(☞P.45)
音が出ない	Android Autoの音声認識機能が正常に終了していない。	スマートフォンをUSB接続ケーブルから取り外し、スマートフォンの電源を入れ直してから、再度接続してください。
Android Autoの電話機能利用不可	Bluetooth®接続が失敗している。	以下を行ってください。 ①スマートフォンをUSB接続ケーブルから取り外します。 ②接続していたスマートフォンの携帯電話の登録を消去します。 登録したBluetooth®対応機器の登録を消去する(☞P.47) ③接続していたスマートフォンのBluetooth®Audioの登録を消去します。 ④再度接続します。
	携帯電話のBT機能故障	携帯電話を再起動してください。
Android Autoが起動しない	接続する端末がAndroid Autoに対応していない。	接続する端末がAndroid Autoに対応しているか確認して下さい。
	接続する対応端末のAndroid Auto接続設定が無効になっている。	接続する対応端末のAndroid Auto接続設定を有効にしてください。
	充電にのみ対応したケーブルで接続している。	Androidスマートフォンに付属のケーブルを使用してください。

故障かな？と思ったら

HDMI

症状	考えられる原因	処置
音が出ない	HDMI接続した外部機器が本機以外の機器とBluetooth [®] 接続をしている。	本機以外とのBluetooth [®] 接続を解除してください。
映像が出ない	スマートフォンをHDMI接続するために利用しているHDMI変換アダプタが正しく動作していない。	スマートフォンからHDMI変換アダプタを一旦取り外し、再度接続してください。
	HDMIが未入力の為、黒い画面になっている。	外部機器の電源を入れる、または他のソースに切り替えてください。(HDMI未入力時は黒い画面になります。)
	HDMIでスマートフォンとの接続のしかたが分からない。	別売のHDMI接続コードが必要です。車両によっては標準装備または別売のHDMI接続ジャックに接続します。なお、HDMI端子はスマートフォンの外部モニターとして使用できるものであり、ナビ画面でのタッチパネル操作はできません。

付録

iPodについて	104
USBメモリーについて	105
Bluetooth®について	106
音楽ファイルについて	110
画像ファイルについて	112
動画ファイルについて	113
ラジオの受信について	115
初期設定一覧	116
商標などについて	118
ソフトウェア、およびオープンソース	
ソフトウェアについて	119
保証とアフターサービス	120
仕様	121
さくいん	122

iPodについて

iPodについて

- 本書では特にことわりの無い限り、iPod/iPhoneを「iPod」と表記しています。
- 本機に接続すると、起動中はiPodへ充電を行います。(iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。)
- iPod touch/iPhoneを接続して使用する際は、iPod touch/iPhone本体側のアプリケーションを終了してから使用してください。音飛びや誤動作の原因となる場合があります。
- iPodソースのときに、iPodの接続・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- 接続中はiPod本体を操作しないでください。(正しく動作しない場合があります)
- iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から取り外してください。
- iPodが正しく動作しない、エラーメッセージが表示されたときは、iPodを本機から外してiPodをリセットしてから再度接続してください。
- 本機への接続前と取り外し後で、iPodのリピートやランダムなどの設定が変わる場合があります。
- 本機の電源を切ったあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電池を消耗することがあります。

本機で接続確認済みのiPod/iPhone

iPod/iPhoneモデル名			
機種:	iPhone 14	iPhone 12 Pro Max	iPhone X
	iPhone 14 Plus	iPhone 12	iPhone 8
	iPhone 14 Pro	iPhone 12 mini	iPhone 8 Plus
	iPhone 14 Pro Max	iPhone 11 Pro	
	iPhone 13 Pro	iPhone 11 Pro Max	
	iPhone 13 Pro Max	iPhone 11	
	iPhone 13	iPhone Xs	
	iPhone 13 mini	iPhone Xs Max	
	iPhone 12 Pro	iPhone XR	

- ※ iPod/iPhoneのソフトウェアを最新バージョンにしておいでください。
- ※ 上表はiPodソースでの音楽再生に関するものです。他のソース、他の機能での使用可否を記載しているものではありません。
- ※ 本機でApple CarPlayが使用できるiPhoneについては下記をご覧ください。
[📱] 本機でApple CarPlayが使用できるiPhone(P.60)

お知らせ

- iPod/iPhoneは最新のソフトウェアバージョンをApple社のホームページよりインストールしてご使用ください。
※ 最新のソフトウェアバージョンでない場合、正しく動作できない場合があります。
- 機種、バージョンによっては一部機能の制限があります。
- iPod/iPhoneの動作やバージョンアップされるiPod/iPhone、ソフトへの対応は、保証いたしかねます。

USBメモリーについて

USBメモリーについて

- USBメモリーに記憶されているデータを本機で編集することはできません。
- USBメモリーは再生中に本機から外さないでください。

対応可能なUSBメモリー

- USB マスストレージ規格準拠
- ファイルシステム：FAT16、FAT32、exFAT
- USB コミュニケーションフォーマット：USB2.0
- パソコンと接続時、リムーバブルディスクとして認識されるもの
- USBメモリー本体にセキュリティがかかっていないもの

お知らせ

- すべてのUSBメモリーの動作を保証するものではありません。
- 使用するUSBメモリーがUSBマスストレージ規格に準拠しているかは、USBメモリーのメーカーにお問い合わせください。
- 下記のUSBメモリーには対応していません。
 - パーティションが複数あるもの
 - 電流が1.2Aを超えるもの
 - パソコンに接続した際、ドライバを要求されるもの
 - セキュリティ機能など特殊な機能が付いているもの
 - パソコンなど、他のUSB機器へ電源供給が可能なもの
- 本機はUSB3.0には対応していません。USB3.0のものを接続した場合、USB2.0で動作します。

Bluetooth[®] について

Bluetooth[®] Audio について

- Bluetooth[®] Audio再生中にBluetooth[®] 接続された携帯電話を操作すると、Bluetooth[®] Audioの音楽が出なくなることがあります。Bluetooth[®] Audio再生中は、Bluetooth[®] 接続された携帯電話の操作はお控えください。
- Bluetooth[®] 接続された携帯電話に電話がかかってきたときや通話している間は、自動的にBluetooth[®] Audioの出力が停止される場合があります。また、通話後はBluetooth[®] 対応オーディオ機器の仕様によっては、Bluetooth[®] Audioの再生が自動で再開されない場合があります。その場合は手動にて再生を行ってください。
- 本機でBluetooth[®] 対応オーディオ機器をご使用になる場合は、Bluetooth[®] 対応オーディオ機器の取扱説明書をよくご覧になり、本機での使用に問題がないことを確認のうえで使用ください。
- Bluetooth[®] 対応オーディオ機器によっては、登録後や接続後すぐに音楽の再生が始まる場合があります。音量設定に注意してください。
- Bluetooth[®] Audioの仕様により、音楽の音質が低下することがあります。
- 本機でBluetooth[®] 対応オーディオ機器を充電することはできません。
- Bluetooth[®] 対応オーディオ機器にイコライザー機能がある場合にはイコライザーを「OFF」にしてください。音割れなどの原因となる場合があります。
- Bluetooth[®] Audio 対応の携帯電話を登録し使用した場合、その携帯電話の仕様によってはBluetooth[®] 操作を行えない場合があります。その場合はBluetooth[®] Audioの登録を削除してください。
- Bluetooth[®] 対応オーディオ機器と接続した場合は、本機との間に障害物がない場所にBluetooth[®] 対応オーディオ機器を置いてください。本機とBluetooth[®] 対応オーディオ機器との間に障害物があると、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。また、障害物がない場合でも、周囲の環境によっては、一時的に音が出なくなる、操作ができなくなる、などの現象が発生する場合があります。
- Bluetooth[®] 対応オーディオ機器の仕様によっては、意図したとおりの動作や表示をしない場合があります。また、機器が誤動作する場合があります。
- Bluetooth[®] Audio再生中にデータ通信、通話などを行った場合、音が飛ぶ、再生、停止などの動作が遅くなる、再生時間表示などの画面表示が一時的に止まる、接続がされにくくなるなどの現象が発生する場合があります。
- Bluetooth[®] 対応機器の音楽再生アプリによってはBluetooth[®] Audioが正しく動作しない場合があります。

Bluetooth® について

Bluetooth® について

- スピード違反取り締まり用レーダーの逆探知機(レーダー探知機)を搭載していると、スピーカーから雑音が出ることがあります。
- 本機は全てのBluetooth®対応機器とのワイヤレス接続を保証するものではありません。接続するBluetooth®対応機器はBluetooth®SIG, Inc の定めるBluetooth®標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。接続するBluetooth®対応機器が上記Bluetooth®標準規格に適合していても、相手機器の特性や仕様によっては接続できない、表示/動作が異なる、などの現象が発生する場合があります。
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。
- 本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定省電力無線局、アマチュア無線局など(以下「他の無線局」と略します。)が運用されています。
 1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本機から「他の無線局」に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すぐに本機の使用をやめて、販売会社へご相談ください。
 3. その他、何かお困りのことが起きたときは、販売会社へご相談ください。
- 本機は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、本機に以下の行為を行うと法律で罰せられることがあります。
 - ・ 分解や改造をする。
 - ・ ユニット本体に貼ってある定格銘板をはがす。
- Bluetooth®対応機器と本機以外の機器がBluetooth®接続されている場合、本機とBluetooth®接続を行うことはできません。その場合は、Bluetooth®対応機器と本機以外の機器とのBluetooth®接続を切断してください。

Bluetooth®の対応規格と対応プロフィール

対応規格	
Bluetooth®標準規格 Ver.4.1	
対応プロフィール	使用する本機の機能
HFP (Hands-FreeProfile) ver.1.7	ハンズフリーフォンの通話
PBAPPhone (BookAccessProfile) ver.1.2	アドレス帳・発着信履歴の転送および自動転送
A2DP (AdvancedAudioDistributionProfile) ver.1.3	Bluetooth®Audio
AVRCP (Audio/VideoRemoteControlProfile) ver.1.6	

Bluetooth® について

ハンズフリーフォンについて

- ハンズフリーフォンを使用するときの通話料は、お客さまのご負担になります。
- 安全な場所へ停車してから通話を行ってください。
- 割込通話(キャッチホン)や三者通話を契約しているときは、電話機本体で割込通話(キャッチホン)や三者通話を解除しておいてください。割込通話(キャッチホン)や三者通話機能には対応していません。
- 通話中に“カシャッ”という音が聞こえることがありますが、これはある無線ゾーンで電波が弱くなったときに、隣の無線ゾーンへ切り替わるために発生する音で、異常ではありません。
- 通話時は通話相手と交互にお話してください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声は相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなる場合があります(故障ではありません)。
- 本機の電源を入れた直後は、電話の着信を受けることができません。
- 次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなる場合があります。
 - ・ 悪路走行時
 - ・ 高速走行時
 - ・ 窓を開けているとき
 - ・ エアコンのファンの音が大きいとき
- ソフト更新対応の携帯電話をお使いの場合は、ソフトウェアを最新にしてご利用ください。詳しくは携帯電話会社のホームページでご確認ください。
- スマートフォンなどにおいて、ハンズフリーフォン発信が行えない場合、既定の発信アプリケーションが通常の電話になっているかご確認ください。その他のアプリケーションが既定設定になっていた場合、正常に発信が行えないことがあります。
- 携帯電話と接続した場合は、本機との間に障害物のない場所に携帯電話を置いてください。
- 以下の場合は、ハンズフリーフォンは使用できません。
 - ・ 使用する携帯電話の圏外に車が移動したとき
 - ・ トンネル、地下駐車場、ビルの陰、山間部など、電波が届きにくい場所にいるとき
- Bluetooth® 通信用の車両側アンテナは本機に内蔵されていますので、携帯電話を金属に覆われた場所や本機から離れた場所に置くと音が悪くなったり接続できなくなったりする場合があります。
- ハンズフリーフォンは付属のマイクを使用して通話します。
- 安全に運転できる姿勢で大きな声でハッキリとお話してください。(マイクに近づいたり、マイクを注視して前方不注意になったりしないようにしてください。)
- デジタル方式のため、声が多少変わって聞こえたり、周囲の音がざわめきのように聞こえたりすることがあります。
- ハンズフリーフォンで通話中に車両内のスイッチ(ハザード)などを操作した場合、その操作音が通話相手に聞こえることがあります。
- 運転席以外からハンズフリーフォンで通話を行った場合、通話の品質が低下することがあります。
- AVソース再生中に発信および着信された場合、再生中の音声は消音(ミュート)状態となります。
- 通話中に車(本機)から離れた(無線通信が不可能な状態になる)と通信は終了(切断)されます。
- 携帯電話の「ダイヤルロック」「オートロック」「セルフモード」「FAXモード」などの機能を解除してからBluetooth® 接続してください。
- ハンズフリーフォン状態で、携帯電話側での操作はしないでください。誤動作をする場合があります。
- 携帯電話にメールが届いても着信音は鳴りません。
- 本機で携帯電話を充電することはできません。

Bluetooth® について

- ご使用の携帯電話によっては、携帯電話が省電力モードになっている場合に、Bluetooth® の接続性が低下する場合（発信ができないなど）があります。その場合には、携帯電話の省電力モードを解除し、待ち受け画面が表示されている状態にてハンズフリーフォン操作を行ってください。
- 携帯電話を車内に放置しないでください。炎天下など、車内が高温となり、故障の原因となります。
- 本機では、通話アプリによるハンズフリーフォンは対応していません。
- 携帯電話にはご利用できない機種があります。適合携帯電話機種は、販売会社にお問い合わせください。

音楽ファイルについて

- 極端にファイルサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できないことがあります。
- エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。再生不可能なファイルがある場合、エラー表示をポップアップして、そのファイルはスキップします。(再生しません。)
- 拡張子は正しく付けてください。正しく付けないと(たとえばAACのファイルに“MP3”の拡張子)大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3 / AAC / WMA / FLACファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 選曲モードのフォルダやトラックリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客さまが予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
 - ※ 正しい順番で表示するには、ファイルの先頭に“01~99”など番号を付けてパソコンで期待する順番(名前順)などに並べ、フォルダごと一度にメディアに書き込むことをおすすめします。メディア上で番号を編集しても表示する順番は変わりません。
- USBで同じ階層に複数のMP3 / AAC / WMA / FLAC音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。

お知らせ

ジャケット写真について

- 音楽ファイルに付けられている画像データのサイズや解像度が大きい場合、正常に再生や表示ができなかったり、音飛びの原因となったりします。
- 128×128ピクセル以上、1024×1024ピクセル以下の画像を推奨します。
- 128×128ピクセル未満の画像は不鮮明に表示されることがあります。
- 1つのファイルに複数の画像のジャケット写真を登録してある場合、正常に表示できない場合があります。

音楽ファイルについて

音楽データの規格について

注) USB=USB メモリー

	MP3	AAC	WMA	FLAC
再生可能メディア	USB			
データの規格、バージョン	MP3 MPEG-1 (Layer-3) MPEG-2 (Layer-3)	AACLC MPEG-2 AACLC HE-AAC V1	WMA9std windows media audio 8	FLAC
ファイル拡張子	mp3、MP3	aac、AAC	wma、WMA	flac、FLAC
サンプリング周波数	48kHz以下	8kHz - 96kHz	48kHz以下	8kHz - 192kHz
ビットレート	8kbps - 448kbps	AACLC : (8kbps - 256kbps) HE-AAC : (Mono : 8kbps - 384kbps : stereo : 6kbps - 768kbps)	161kbps 以下	
フォルダ名/ファイル名の最大文字数	USB : 全角28文字/半角56文字 ※フォルダ名+ファイル名の合計文字数が半角250文字、全角125文字を超える場合、再生できません。			
フォルダ名/ファイル名の使用可能文字	A~Z(全角 / 半角)、0~9(全角 / 半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角 / 半角)			
最大フォルダ階層	8階層			
1フォルダ内の最大ファイル数	USB : 2500 ※ファイル数+フォルダ数の合計が2500以下であること			
1メディア内の最大フォルダ数	USB : 255			
表示可能なタグ	USB : トラック名 / アーティスト名 / アルバム名 / ジャンル名			
タグ表示可能文字数	全角12文字 /半角24文字	全角12文字 /半角24文字	全角12文字 /半角24文字	全角12文字 /半角24文字
ジャケット写真のファイル規格	USB : JPEG 形式			

※ m3u / MP3i フォーマット / MP3 PRO フォーマット / ディエンファシスには対応していません。

※ DRM(デジタル著作権管理)には対応していません。

※ 著作権保護された音楽ファイル(USB-Audio 規格など)は再生できません。

※ フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

※ 2チャンネルを超えるチャンネルを持つ音楽データは再生できません。

※ ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。

画像ファイルについて

再生可能な画像ファイルについて

再生可能メディア	USBメモリー
対応形式	Baseline JPEG 方式
ファイル拡張子	JPG/jpg、PNG/png、BMP/bmp
フォルダ名／ファイル名の最大文字数	全角28文字／半角56文字
最大フォルダ階層	8階層
1フォルダ内の最大ファイル数	2500(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	2500(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
最大フォルダ数	255(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
フォルダ名／ファイル名の使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS 第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)
ファイルサイズ	10 MB 以下

※ Progressive JPEG、カラーフォーマットが Gray scale、RGB、CMYK の JPEG ファイルは対応していません。

※ 大きい画像は画面に合わせて表示されます。

※ 液晶の縦横のドットピッチが違いため、本来の画像と印象が異なる場合があります。

動画ファイルについて

動画ファイルの再生について

- 極端にサイズの大きいファイル、小さいファイルは正常に再生できなかつたり、再生までに時間がかかたりすることがあります。
- 極端に再生時間の長いファイル、短いファイルは正常に再生できなかつたり、再生までに時間がかかたりすることがあります。
- 同一ファイル内に音声／映像以外の情報(画像など)が同時に収録されている動画ファイルの再生はできません。
- チャンネル数が2を超える音声データを含む動画ファイルは再生できません。
- 映像が含まれない動画ファイルは再生できません。
- フォルダやファイルリストに表示される順番はメディアに書き込まれた順となります。メディアに書き込む手順によってはお客さまが予想している順とは異なった順で表示されることがあります。
※ ファイルの先頭に番号を付け(例：001～100など)、一度にメディアに書き込むことをおすすめします。
- 対応していない動画形式のファイルに再生可能な拡張子(MP4/mp4/AVI/avi/WMV/wmv)を付けると、ファイルを誤認識して本機の故障の原因となる場合があります。
- 動画ファイルの作りかたによっては、動画ファイル自体の映像にノイズが含まれるものがあります。動画作成ソフトなどでフィルタリングすることでノイズを除去できる場合があります。
- USBメモリーの種類によっては、転送速度の関係でデータ転送が間に合わずコマ落ち／音飛びの原因となる場合があります。

著作権について

個人で作成したものでない映像や音声を、個人で楽しむ以外の目的で権利者に無断で使用することは、著作権法上制限されています。

お知らせ

- 著作権保護された動画ファイル(SD-Video規格など)の映像は再生できません。
- ビットレートが低いと十分な画質・音質を得られない場合があります。
- 可変ビットレート(VBR)で作成されている場合、部分的にビットレートが高くなる場合があります。そのような部分では音飛びやコマ落ちなどが起こる可能性があります。
- Windows Media Videoには対応していません。
- Global Motion Compensation Quarter-pel Motion Compensationには対応していません。映像が乱れ正しく再生できません。
- AAC-Plusには対応しておりません。
- 左記仕様から外れた動画ファイルを再生すると、再生できなかつたり音飛びやコマ落ちなどが起こったりするおそれがあります。

動画ファイルについて

再生可能な動画ファイルについて

再生可能メディア	USB メモリー
ファイル拡張子	MP4/mp4、AVI/avi、WMV/wmv
フォルダ名/ ファイル名の最大文字数	全角28文字/半角56文字
最大フォルダ階層	8階層
1フォルダ内の最大ファイル数	2500(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
1メディア内の最大ファイル数	2500(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
最大フォルダ数	255(ファイル数+フォルダ数：ルートフォルダ含む)
フォルダ名/ ファイル名の使用可能文字	A~Z(全角/半角)、0~9(全角/半角)、_(アンダースコア)、 全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角/半角)
ファイルサイズ	4GB 以下

映像

コーデック、プロファイル	MPEG2 (Profile(BP, MP)) MPEG4 (Profile(SP, ASP) except GMC) H.263 (Profile(P3)) H.264 (Profile(BP, MP, HP)) VC-1 (Profile(SP, MP, AP)) MJPEG WMV 7/8 HEVC Xvid
ビットレート	最大50Mbps
フレームレート	最大60fps(しかし、WMVの場合は、最大30fpsです。)
最大解像度	1920 × 1080

音声

コーデック、プロファイル	MP3 MPEG-1 (Layer-3) MPEG-2 (Layer-3) AACLC MPEG-2 AACLC HE-AAC VI WMA9std windows media audio 8
ビットレート	8kbps~768kbps
サンプリング周波数	44.1 kHz

お知らせ

- 動画ファイルの作成方法については各機器またはPC用アプリケーションの取扱説明書をご覧ください。
- 動画ファイルの作成方法、エンコーダソフトウェアなどによっては再生できなかったり、音声、映像が乱れたりする場合があります。

ラジオの受信について

ラジオの受信について

- ラジオの受信は受信環境によって、電波の強さの変化、障害物や他電波などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。
 - トンネル内に入ったり、放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
 - 車の走行速度によっては音声が乱れたり、受信できなくなったりする場合があります。また、停車中でも周囲の車の動きなどにより受信状態が悪くなる場合があります。
 - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなる場合があります。
 - 電車の架線、高圧線、ラジオやテレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの放電機器の近くで受信すると、音声が乱れたり雑音が入ったりする場合があります。
 - 一部の地域において、ラジオやテレビなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、音声が乱れが生じる場合があります。
 - 本機の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など(パソコンや携帯電話など)を車内で使用したり、地上デジタルテレビ放送用アンテナやアンテナコードに近づけたりすると、受信状態が悪くなります。それらの機器の使用を中止するか、本機から離してご使用ください
 - ワイパー、電動ミラー、エアコンのファンなどが動作すると受信感度が悪化する場合があります。

初期設定一覧

サウンド設定

TRE・MID・BASS設定	
TRE・MID・BASS=0	
車速連動音量	
設定=MIDDLE	
FADE/BALANCE=0	
イコライザー=OFF	

システム設定

Bluetooth®	
Bluetooth® = <input checked="" type="radio"/> ON	
音量 & 操作音	
操作音の出力 = <input checked="" type="radio"/> ON (ON)	
通話 音量	着信音量=6 送話音量=6 受話音量=10
Apple CarPlay / Android Auto 音声案内音量=6	
AIアシスタント音量=6	

時刻設定

画面上の時刻表示 = <input checked="" type="radio"/> ON (ON)
時刻表示方法 = <input type="text" value="12"/> 12 (12時間制)

FM/AM

FM 周波数 = 76.0 MHz
AM 周波数 = 522 kHz

交通情報

交通情報 = <input type="text" value="1620kHz"/>

USB

モード切替 = <input type="text" value="音楽ファイル"/>
選曲モード = <input type="text" value="全曲"/>
再生モード = 通常再生

画質調整 ※()内はイルミネーションON時の設定値

明るさ	8 (8)	各画面共通 ※ HDMI、カメラ映像 の画質調整パラメータが独自保持です。
コントラスト	8 (8)	

HDMI ※()内はイルミネーションON時の設定値

明るさ	5 (5)
コントラスト	5 (5)
黒の濃さ	5 (5)
色の濃さ	5 (5)
色合い	5 (5)

カメラ ※()内はイルミネーションON時の設定値

明るさ	10 (5)
コントラスト	5 (5)
黒の濃さ	5 (5)
色の濃さ	5 (5)
色合い	5 (5)

AV音量調整

音量 = 10

バーチャルビュー設定

ビューコンセプトの選択	ダーク
-------------	-----

初期設定一覧

リアカメラ設定	
リアカメラ次回表示ビュー設定	前回ビュー
ダブルビュー合成映像表示	(ON)
後方死角サポート設定	(ON)
後退出庫サポート設定	(ON)
後退出庫サポート警報頻度	高い
後方車両お知らせ設定	(ON)
後方車両お知らせ開始速度	60km/h
後方車両お知らせ検知範囲	標準
運転支援警報音設定	中
運転支援お知らせ音声設定	中
バーチャルビュー設定	ダーク
マルチビューカメラの各種設定	シンプル
後退駐車サポート表示	(ON)
ダイナミックガイドライン	(ON)
ガイドライン表示	(ON)

商標などについて

- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth® SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Shenzhen Hangsheng Electronics Co.,Ltd (以下、Hangsheng と称します)は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- Oracle と Java は Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Android、Android Auto、Android Auto ロゴ、Gmail、Google カレンダーおよび Google Play は Google LLC の商標または登録商標です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License 及び AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客様の個人的かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - ・ 画像情報を MPEG-4 Visual、AVC 規格に準拠して(以下、MPEG-4/AVC ビデオ)を記録すること。
 - ・ 個人的活動に従事する消費者によって記録された MPEG-4/AVC ビデオ、または、ライセンスをうけた提供者から入手した MPEG-4 / AVC ビデオを再生すること。詳細については MPEG LA, L.L.C. (<https://www.via-la.com/licensing-2/>) をご参照ください。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specially to the Apple products identified in the badge, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.
- Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards.
- Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.
- Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod touch, Lightning and Siri are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- Apple CarPlay is a trademark of Apple Inc.
- The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- IOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.
- 本機は ARIB (電波産業会)規格に基いた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- 本機に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
- 本製品の取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは、各社の登録商標または商標です。
- 各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- QR コードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

ソフトウェア、およびオープンソースソフトウェアについて

■ 本製品には、以下のソフトウェアが含まれています

- (1) Hangshengにより、またはHangshengのために開発されたソフトウェア
- (2) Hangshengにライセンスされた第三者所有のソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (「GPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1 (「GPL」)に基づいてライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL, LGPL以外に基づいてライセンスされたオープンソースソフトウェア

■ 上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、それぞれ、以下のGPLおよびLGPL所定の条件をご参照ください

GPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html>

LGPL : <http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html>

また、上記(3)、(4)に分類されるソフトウェアについては、多数の人が著作権を保有しています。これらの著作権者の著作権表示については、以下をご参照ください。

<http://tech.hangsheng.com.cn/>

GPL/LGPLに基づきライセンスされるソフトウェア(「GPL/LGPLソフト」)は、有用であることを願って頒布されますが、全くの無保証です。

商業可能性があることや特定の目的に適合していることについては、黙示的保証も含め、一切保証されません。

Hangshengは、製品発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた全ての方に対してソースコードの提供に必要な物理的コストを上回らない程度の料金と引き換えに、GPL/LGPLソフトに対応した完全かつ機械で読み取り可能なソースコードを提供します。ソースコードの内容等についてのご質問はお答えできませんので、あらかじめご了承ください。またインターネット接続環境はお客様ご自身でご用意していただく必要があります。

Webサイトの閲覧中およびダウンロード中のインターネット接続、回線使用料等はお客様ご負担となります。

[問い合わせ窓口]

2/F Hangsheng Technology Building, South 6th road of Hi-tech Park,
Nanshan District, Shenzhen
518057, P.R.China

Shenzhen Hangsheng Electronics Co.,Ltd.

Shenzhen R&D Center 責任者

また、上記のGPL/LGPLソフトに対応したソースコードは、以下のウェブサイトで、誰でも自由に入手することができます。

<http://tech.hangsheng.com.cn/>

保証とアフターサービス

■ 保証について

- 保証書に記載された「販売店印・お買い上げ日」を確認し、よくお読みのうえ、大切に保管してください。

■ アフターサービスについて

- 本機が正常に動作しないとき まず、本書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも本機が正常に動作しないとき 保証規定に従い修理させていただきますので、お買い上げのHonda販売店に修理を依頼してください。
- 保証期間中の修理 保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理 修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理いたします
- 補修用性能部品 製造打ち切り後、最低6年間保有しています。

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。

仕様

仕様およびデザインは、改良のため予告なく変更することがあります。

モニター部	
種類	液晶カラーモニター
駆動方式	TFT アクティブマトリックス方式
画面サイズ	8インチ
使用光源	LED

ラジオ・チューナー部	
回路方式	AM/FM
受信周波数	FM 76.0 MHz~99.0 MHz AM 522 kHz~1629 kHz
実用感度	FM 15 dB(μ V) AM 37 dB(μ V)
S/N比	FM 55 dB (15 MHz L.P.F 使用時) AM 50 dB (15 kHz L.P.F 使用時)
ステレオセパレーション	FM 20 dB (15 MHz L.P.F 使用時)
歪率	FM/AM 0.5%

その他	
供給電源電圧	DC12V
最大出力	40W × 4(14.4V)
外形寸法	VX-240ZFE : 200 × 130 × 173mm LX-240ZFE : 243 × 148 × 173mm (幅×高さ×奥行き) ※突起部は除く
質量	VX-240ZFE : 1.4kg LX-240ZFE : 1.7kg

※本書に記載の寸法・質量はおおよその数値です。

さくいん

A

AAC	111
Android Auto	63
Apple CarPlay	60

B

Bluetooth® Audio	34
------------------	----

I

iPod	27
iPod/iPhone(接続確認済みモデル)	25
iPodの接続	25

J

JPEG	112
------	-----

M

MP3	111
MPEG4	114

U

USBメモリー	29
USBメモリーの接続	25

オ

オーディオリモートコントロールスイッチ	78
---------------------	----

カ

回転(画像ファイル)	32
各部の名称と機能	13
画質の調整	76
画像再生	31
画面消し	77

ケ

携帯電話のアドレス帳転送	58
携帯電話の発着信履歴転送	58

コ

交通情報(ラジオ)	24
-----------	----

サ

再生モード	28,30,37
サンプリング周波数	111

シ

出荷状態に戻す	14
消音	20
初期化	76
初期設定一覧	116

ス

スマートフォン連携	60,63
スライドショー(画像ファイル)	31

さくいん

ソ

操作音 74

ト

登録消去 (Bluetooth® Audio) 47

登録消去 (携帯電話) 47

登録設定 (Bluetooth® Audio) 45

登録設定 (携帯電話) 45

ハ

バランス/フェーダー設定 39

ハンズフリーフォン 49

ハンズフリーフォンの通話設定 57

ヒ

ビットレート 111

ラ

ラジオ 22

ランダム再生 28,30,37

リ

リダイヤル 79

リピート再生 28,30,37

リアカメラ de あんしんプラス4 85

ワ

割り当て (Bluetooth® Audio) 34

割り当て (携帯電話) 34

ワンタッチダイヤル 55

■ 「用品使い方サポート」

お困りの症状への対処方法をウェブサイトでご案内しています。
お問い合わせ前にご確認ください。

用品使い方サポート


➡ 検索



<https://www.honda.co.jp/manual-access/support/navi/>

- 商品についてのお問い合わせは、お買い求めの販売店
または株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル  0120-663521

(受付時間：9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝日・弊社指定休日は除く)

- Honda Total Careおよびリンクアップフリー、緊急サポートについてのお問い合わせは、Honda Total Careコールセンターまでお願いします。
本田技研工業株式会社「Honda Total Careコールセンター(会員専用)」

全国共通フリーダイヤル  0120-21-5656

(受付時間：9時～12時、13時～17時／ゴールデンウィーク・夏期・年末年始休業を除く)

販売元 **株式会社ホンダアクセス**

〒352-8589

埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元 **深セン市航盛電子股份有限公司**

08A00-PR3-A401-8A

